

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-16252

(P2004-16252A)

(43) 公開日 平成16年1月22日(2004.1.22)

(51) Int. Cl.⁷A63F 7/02
G06F 17/60

F I

A63F 7/02 328
A63F 7/02 ZEC
G06F 17/60 408

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 34 頁)

(21) 出願番号 特願2002-171177 (P2002-171177)
(22) 出願日 平成14年6月12日 (2002. 6. 12)(71) 出願人 000144153
株式会社三共
群馬県桐生市境野町6丁目460番地
(74) 代理人 100098729
弁理士 重信 和男
(74) 代理人 100116757
弁理士 清水 英雄
(74) 代理人 100099357
弁理士 日高 一樹
(72) 発明者 戸崎 智弘
群馬県桐生市境野町6の460 株式会社
三共内
Fターム(参考) 2C088 BA88 BB01 BB31 CA31 EA48
EA49

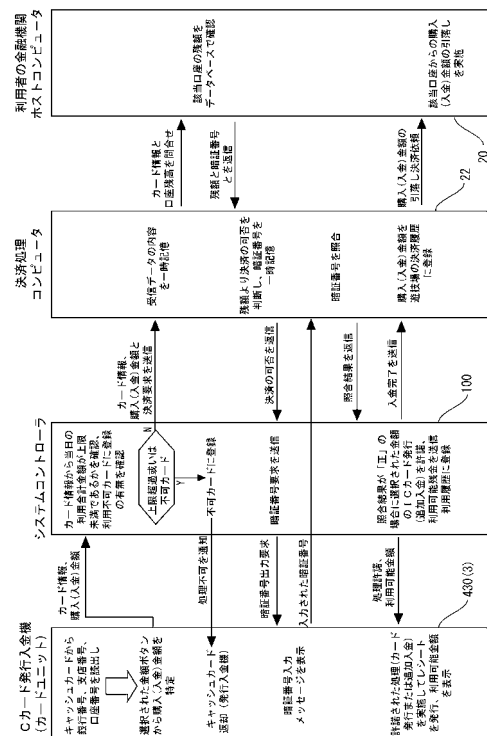
(54) 【発明の名称】 遊技用システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 遊技に過度に没頭してしまった遊技者の使用金額を適宜に抑えること。

【解決手段】 遊技用記録媒体37を発行する遊技用記録媒体発行手段448、445と、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段413と、少なくとも記録情報と遊技用記録媒体37の発行に供される発行金額情報とを決済処理機関に送信し、返信情報を受信する情報送受信手段23と、発行金額の決済が可能である場合、遊技用記録媒体を発行する遊技用システムにおいて、発行金額と発行日時の情報を少なくとも含む口座特定用記録媒体毎の発行履歴を記憶、管理する利用履歴管理手段100と、所定期間における発行金額の合計金額を算出し、合計金額が所定期間の利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合に遊技用記録媒体発行手段5からの遊技用記録媒体の発行を許可しない利用限度額判定手段を備える。

【選択図】 図16



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を発行するための遊技用記録媒体発行手段と、
利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、
少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と前記遊技用記録媒体の発行に供される発行金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、
該返信情報が遊技用記録媒体の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を前記遊技用記録媒体発行手段にて発行する遊技用システムにおいて、
前記発行金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の発行履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の発行金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段からの遊技用記録媒体の発行を許容しない利用限度額判定手段を備えることを特徴とする遊技用システム。

【請求項 2】

遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を受け、該受け付けた遊技用記録媒体の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段と、
利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、
少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と価値加算に供される加算要求金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、
該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段にて遊技用記録媒体から読み取った記録情報から特定される遊技用価値の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段と、
を具備する遊技用システムにおいて、
前記加算要求金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の価値加算履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の価値加算金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記価値加算処理手段における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段を備えることを特徴とする遊技用システム。

【請求項 3】

遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を受け、該受け付けた遊技用記録媒体の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段と、
利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、
少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と、前記遊技用記録媒体の発行に供される発行金額情報或いは価値加算に供される加算要求金額情報を、遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、

該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段にて遊技用記録媒体から読み取った記録情報から特定される遊技用価値の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段と、

前記返信情報が遊技用記録媒体の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を発行するための遊技用記録媒体発行手段と、

を具備する遊技用システムにおいて、

前記発行金額並びに加算要求金額と利用日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の利用履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の発行金額並びに加算要求金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段からの遊技用記録媒体の発行或いは前記価値加算処理手段における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段を備えることを特徴とする遊技用システム。 10

【請求項 4】

前記所定期間における利用限度額を設定するための利用限度額設定手段を備える請求項 1～3 のいずれかに記載の遊技用システム。

【請求項 5】

20

前記所定期間が 1 日とされている請求項 1～4 のいずれかに記載の遊技用システム。

【請求項 6】

前記所定期間における利用限度額に前記合計金額が達して利用不可とされた口座特定用記録媒体の利用不可期間を設定するための利用不可期間設定手段を備える請求項 1～5 のいずれかに記載の遊技用システム。

【請求項 7】

前記利用限度額から前記合計金額を差し引いた利用可能残額を表示するための表示手段を備える請求項 1～6 のいずれかに記載の遊技用システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

30

【発明の属する技術の分野】

本発明は、遊技が可能とされた遊技場に設けられ、プリペイドカード等の遊技用記録媒体の発行や、遊技用記録媒体の記録情報に基づく遊技用価値への価値加算（追加入金）を実施可能な遊技用システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、多くの遊技場においてプリペイドカード等の遊技用記録媒体を用いて遊技を実施可能とする遊技用システムが使用されている。これら遊技用記録媒体を発行して該発行された遊技用記録媒体にて遊技を実施可能とすることは、従来の現金にて遊技媒体であるパチンコ玉やコインを貸し出す方式に比較して、これら投入された現金を各貸出装置より逐次回収するための労力等を省くことができるという遊技場側にとっての利点がある反面、これらプリペイドカード等の遊技用記録媒体の発行には所定の発行コストがかかることから、遊技用記録媒体が使い切りであると、遊技場側が負担する発行コストが膨大なものになってしまうという問題があり、これらの問題を解消するために、使用済みの遊技用記録媒体を回収可能として回収された遊技用記録媒体を再使用できるようにしたり、回収以前の状況において、現金（硬貨や紙幣）を投入することで遊技用記録媒体であるプリペイドカードへの価値加算（追加入金）が可能とされた遊技用システムが実用化されてきている。 40

【0003】

これら遊技用記録媒体の発行や前記価値加算（追加入金）を可能とした遊技用システムにおいては、これら発行や価値加算（追加入金）を行うために現金が必要であるが、近年に 50

において注目されているデビットカードのように、現金を持ち合わせていない遊技者であっても、現金を口座から引き出しに出向かずに、口座特定用記録媒体である金融機関のキャッシュカード等を使用して遊技用記録媒体の発行や前記価値加算（追加入金）を受けることのできる遊技用システムが提案されてきている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

これら金融機関のキャッシュカード等を使用して遊技用記録媒体の発行や前記価値加算（追加入金）を受けられるようにすることは、遊技者の利便性を向上できるばかりか、遊技者が現金の引き出しに出向くことによる時間を遊技に結びつけることが可能となり、遊技機の稼働率を向上できる等の利点がある一方、遊技者は、所持現金の有無に拘わらず、口座に残存する残金額を利用できるようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者の使用金額を、適宜に抑えたいという要求があるが、これらの要求に対応できるシステムが存在しなかった。

【0005】

よって、本発明は上記した問題点に着目してなされたもので、遊技に過度に没頭してしまった遊技者の使用金額を適宜に抑えることのできる遊技用システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記した問題を解決するために、本発明の遊技用システムは、遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を発行するための遊技用記録媒体発行手段と、

利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、

少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と前記遊技用記録媒体の発行に供される発行金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、

該返信情報が遊技用記録媒体の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を前記遊技用記録媒体発行手段にて発行する遊技用システムにおいて、

前記発行金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の発行履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の発行金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段からの遊技用記録媒体の発行を許容しない利用限度額判定手段を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える遊技用記録媒体の発行を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、遊技用記録媒体の発行に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【0007】

本発明の遊技用システムは、遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を受付け、該受付けた遊技用記録媒体の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段と、

利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、

少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と価値加算に供される加算要求金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、

該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である

場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段にて遊技用記録媒体から読み取った記録情報から特定される遊技用価値の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段と、
を具備する遊技用システムにおいて、

前記加算要求金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の価値加算履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の価値加算金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記価値加算処理手段における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段を備えることを特徴としている。 10

この特徴によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える価値加算処理を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、価値加算に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【0008】

本発明の遊技用システムは、遊技機で遊技を行う際に使用される遊技用価値の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を受付け、該受付けた遊技用記録媒体の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段と、
利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段と、 20
少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段にて読み出された記録情報と、前記遊技用記録媒体の発行に供される発行金額情報或いは価値加算に供される加算要求金額情報を、遊技場外に設置されている決済処理機関に送信するとともに、該決済処理機関からの返信情報を受信する情報送受信手段と、

該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段にて遊技用記録媒体から読み取った記録情報から特定される遊技用価値の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段と、
前記返信情報が遊技用記録媒体の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す 30
情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を発行するための遊技用記録媒体発行手段と、

を具備する遊技用システムにおいて、
前記発行金額並びに加算要求金額と利用日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体毎の利用履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体の発行金額並びに加算要求金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段からの遊技用記録媒体の発行或いは前記価値加算処理手段における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段を 40
備えることを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える遊技用記録媒体の発行或いは価値加算処理を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、遊技用記録媒体の発行或いは価値加算に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【0009】

本発明の遊技用システムは、前記所定期間における利用限度額を設定するための利用限度額設定手段を備えることが好ましい。

このようにすれば、前記所定期間における利用限度額を適宜に変更することができる。

【0010】

本発明の遊技用システムは、前記所定期間が1日とされていることが好ましい。 50

このようにすれば、所定期間を1日とすることで、1日単位にて節度を持った利用を行わせることができる。

【0011】

本発明の遊技用システムは、前記所定期間における利用限度額に前記合計金額が達して利用不可とされた口座特定用記録媒体の利用不可期間を設定するための利用不可期間設定手段を備えることが好ましい。

このようにすれば、利用不可期間を過ぎれば、再度口座特定用記録媒体の利用が可能となるので、遊技者の利便性を損なうことがない。

【0012】

本発明の遊技用システムは、前記利用限度額から前記合計金額を差し引いた利用可能残額 10
を表示するための表示手段を備えることが好ましい。

このようにすれば、遊技者は、自分の利用可能残額を逐次確認することができる。

【0013】

【発明の実施形態】

以下、図面に基づいて本発明の実施形態を説明する。尚、以下の実施例においては、遊技機として遊技媒体であるパチンコ玉が払い出される通常のパチンコ機を用いた例を示すが、本発明はこれに限定されるものではなく、その他の遊技機、例えばパチンコ玉が指触不能に封入された封入式パチンコ機や、遊技媒体としてコインやパチンコ玉を使用するスロットマシンやパチロット、更には完全クレジット式のスロットマシン等の遊技機においても適用可能である。 20

【0014】

（実施例）

図1は、本実施例に用いた遊技島を示す外観斜視図であり、図2は、本実施例に用いたパチンコ機並びにカードユニットの正面図であり、図3は、前記パチンコ機の前方に突設された打球供給皿の上面に設けられた操作部の上面図であり、図4は、前記カードユニットの一部破断斜視図であり、図5は、前記カードユニットに設けられた入力操作部の構成を示す正面図であり、図6は、前記パチンコ機とカードユニットとの接続状況並びに該カードユニットの構成を示すブロック図であり、図7は、前記カードユニットに設けられたICカードリーダーライタの構成を示す断面図であり、図8は、本実施例に用いた遊技用記録媒体としてのICカードを示す一部破断上面図であり、図9は、前記遊技島の島端に配置された本実施例の遊技用装置である発行入金機を示す外観斜視図であり、図10は、前記発行入金機に設けられた操作部の正面図であり、図11は、前記発行入金機の構成を示すブロック図であり、図12は、本発明の実施例に用いたシステムコントローラの構成を示すブロック図である。 30

【0015】

本実施例に用いた遊技島1は、遊技場の所定箇所に配置されており、図1に示すように、その前後面（後面は図示せず）に遊技機としてのパチンコ機2と、該パチンコ機2の側部位置に1対1にて配置される本実施例の遊技用装置であるカードユニット3と、が複数並設されており、該遊技島1の内部には、前記各パチンコ機2にパチンコ玉を供給する供給樋や、前記各パチンコ機2にて使用され、排出されたパチンコ玉を集めて前記供給樋に揚送する揚送装置等（図示略）が設けられているとともに、高さ方向略中央部には前記各カードユニット3より排出された紙幣を所定方向島端に設けられた収容部360に搬送可能な紙幣搬送路340や、同様に前記各カードユニット3より排出されたICカード37を前記収容部360に搬送可能なカード搬送路350が設けられている。 40

【0016】

また、これら各カードユニット3は、図6並びに図15に示すように、前記遊技場の所定箇所に設けられたシステムコントローラ100並びにターミナルユニット23を介して後述する決算処理センターに設けられた決済サーバコンピュータ22にデータ通信可能に接続されている。

【0017】

また、前記遊技島 1 の島端には、前記収容部 360 に隣接して後述の IC カード 37 の新規発行並びに追加入金が可能とされた本発明の遊技用システムを構成する発行入金機 430 (図 9 参照) が設けられており、図 6 並びに図 15 に示すように、前記各カードユニット 3 とともに、前記ターミナルユニット 23 を介して後述する決算処理センターの決済サーバコンピュータ 22 にデータ通信可能に接続されているとともに、前記システムコントローラ 100 にデータ通信可能に接続されている。

【0018】

次いで、本実施例に用いた遊技機であるパチンコ機 2 について簡単に説明すると、該パチンコ機 2 は、図 2 に示すように、額縁状に形成されたガラス扉枠 202 を有し、該ガラス扉枠 202 の下部表面には打球供給皿 203 がある。打球供給皿 203 の上面所定箇所には、操作部 14 が設けられているとともに、打球供給皿 203 の下部には、打球供給皿 203 から溢れた景品玉を貯留する余剰玉受皿 204 と打球を発射する打球操作ハンドル (以下操作ノブ) 205 とが設けられている。 10

【0019】

前記操作部 14 の上面には、図 3 に示すように、前記カードユニット 3 において後述するプリペイドカードである IC カード 37 より読み出された度数が表示される度数表示部 17 と、遊技の開始または前記打球供給皿 203 に持玉が少なくなったか或いは無くなった際に押圧操作されることで、前記度数表示部 17 に度数が存在する場合に所定数量のパチンコ玉の貸出がパチンコ機 2 より実施される貸出ボタン 16 と、遊技の終了時に前記カードユニット 3 に受付中の IC カード 37 を返却させるための返却ボタン 15 と、が設けられており、これら各部は操作部 14 内部に設けられている操作基板 18 上に実装されている。 20

【0020】

前記ガラス扉枠 202 の後方には、図 2 に示すように、遊技盤 206 が着脱可能に取付けられている。また、遊技盤 206 の前面には遊技領域 207 が設けられている。この遊技領域 207 の中央付近には、「特別図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される可変表示部 209 と、「普通図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される可変表示装置 210 とが設けられている。また遊技盤 206 には、複数の入賞口 224 や通過ゲート 211、始動入賞口 214、可変入賞球装置 216 が設けられているとともに、遊技領域 207 の下部には、入賞しなかった打込玉を回収するアウト口 226 が形成されている。 30

【0021】

前記打球操作ノブ 205 の操作によって揺動されるハンマー (図示略) によって発射された打玉は、打球レールを通過して遊技領域 207 に入り、その後、遊技領域 207 を流下していく。この際、発射勢いが弱すぎて前記遊技領域 207 に達しなかったパチンコ玉は、環流経路 (図示略) を通じて前記余剰玉受皿 204 に環流されるようになっている。

【0022】

また、前記遊技領域 207 に打ち込まれた打込玉が通過ゲート 211 を通過すると、可変表示装置 210 に停止表示されている普通図柄が可変開始する。

【0023】

可変表示装置 210 の可変表示動作後の表示結果が予め定められた特定の表示結果 (たとえば 7) となった場合に、始動入賞口 214 に設けられた可動片 215 が所定時間開成して遊技者にとって有利な状態となる。 40

【0024】

また、始動入賞口 214 にパチンコ玉が入賞すると、可変表示部 209 において全特別図柄が可変表示 (変動表示) を開始する。そして、その後、左、中、右の特別図柄が停止し、その停止表示結果が予め定められた特定の表示態様 (たとえば 777) となった場合に、特定遊技状態 (大当たり状態) が発生する。このように大当たり状態が発生した場合には、可変入賞球装置 216 に設けられた開閉板 220 が開成して遊技者にとって有利な第 1 の状態となる。この第 1 の状態は、所定期間 (たとえば 30 秒間) の経過、或いは所定個数 50

(たとえば10個)の打玉の入賞のうちいずれか早い方の条件が成立することにより終了し、その後、遊技者にとって不利な第2の状態となる。第1の状態となっている可変入賞球装置216の大入賞口内に進入した打玉が特定入賞領域(Vポケット)に入賞して図示しないVカウントスイッチにより検出されれば、その回の第1の状態の終了を待って前記第2の状態から前記第1の状態に制御する繰返し継続制御が行なわれる。この繰返し継続制御の上限回数は例えば15回と定められている。

【0025】

また、前記可変表示部209で可変表示された左、中、右の特別図柄が同じ図柄の種類に一致した大当たり図柄の組合せで停止表示されたときには前述したように大当たりが発生するが、これら大当たり図柄に停止表示される以前の状態において、リーチ状態が発生する場合がある。ここで、「リーチ状態」とは、可変表示部209が可変開始された後、表示制御が進行して表示結果が導出表示される前段階にまで達した時点でも、特定の表示態様となる表示条件から外れていない表示態様をいう。例えば、前記特定の表示態様の組合せが揃った状態を維持しながら複数の前記可変表示部209による可変表示を行う状態もリーチ表示状態に含まれる。

10

【0026】

これらパチンコ機2の構成を図6に基づいて説明すると、該パチンコ機2には、前記可変表示部209の表示制御を行う表示制御基板280と、図示しない玉タンクに供給されたパチンコ玉の払出を実施する玉払出装置297に接続され、後述の遊技制御基板231から出力される賞球信号並びにカードユニット3より入出力される各種信号に基づきパチンコ玉の払出制御を行う賞球制御基板237と、遊技効果ランプ等の制御を実施するランプ制御基板235と、スピーカから出力される音声の制御を行う音声制御基板270と、前記打球操作ハンドル205の操作に基づき打球供給皿203に払い出されたパチンコ玉を遊技領域207に発射する打球発射装置の制御を行う発射制御基板291と、これら各部の制御を実施する遊技制御基板231と、が設けられており、これらは図6に示すように接続され、前述の打球供給皿203に払い出されたパチンコ玉を使用して遊技を実施できるようになっている。

20

【0027】

また、前記賞球制御基板237は、前記カードユニット3の制御ユニット328に信号ケーブル9を介して接続されており、後述の台端末貸出完了信号(EXS)や台READY信号(PRDY)が前記カードユニット3の制御ユニット328に出力されるようになっているとともに、前記カードユニット3の制御ユニット328より出力される後述のカードユニットREADY信号(BRDY)や台端末貸出要求完了確認信号(BRQ)が入力されるようになっている。

30

【0028】

また、前記操作基板18は、前述の賞球制御基板237並びに信号ケーブル9を介してカードユニット3に接続されており、前記貸出ボタン16が操作されて遊技者による玉貸し操作がなされた場合に出力される貸出入力信号や、返却ボタン15が操作された場合に出力される返却入力信号が、前記カードユニット3の制御ユニット328に出力されるようになっているとともに、該制御ユニット328より出力される前記度数表示部17の度数表示信号が入力されることで該度数表示部17に該度数表示信号に基づく度数が表示されるようになっている。

40

【0029】

次いで、本実施例の遊技用装置としてのカードユニット3について図2並びに図4～図6に基づき説明すると、該カードユニット3の前面には、図2に示すように、点灯によりカードユニット3の動作を報知する動作ランプ301と、紙幣が挿入及び返却可能とされた紙幣挿入口304と、該紙幣挿入口304からの紙幣の返却の際に点滅点灯されて該紙幣の返却を利用者に報知する紙幣インジケータ303と、後述する入力操作部305と、所定の金融機関により発行され、利用者が所持する口座特定用記録媒体としてのキャッシュカードの記録情報を読み取り可能とされ、口座特定用記録媒体読み取り手段である後述す

50

るキャッシュカードリーダー３１７と連設して設けられたリーダー部３０６と、前記ＩＣカード３７を挿入可能とされたＩＣカード挿入口３１４と、該ＩＣカード挿入口３１４に挿入されているＩＣカード３７の排出を利用者に報知するＩＣカードインジケータ３１３と、後述する利用明細としてのレシートが排出されるレシート排出口３３４と、該レシート排出口４０８からレシートが排出されていることを報知するレシートインジケータ３３５と、が設けられている。

【００３０】

前記リーダー部３０６は、図４に示すように、前記カードユニット３の前面において前方に突出する態様にて設けられており、該リーダー部３０６の幅方向略中央には上下方向に前記キャッシュカードをスライド可能とされたスリット３０７が設けられており、該スリット
10 ３０７内に利用者が所持したキャッシュカードの一方の長辺端部を嵌入させた状態で上下方向にスライドさせることで、スリット３０７の内側面に設けられた読み取りヘッド（図示略）により、前記キャッシュカードの他方の長辺端部に沿って貼着された磁気テープ（図示略）に記録された情報が読み出されるようになっている。

【００３１】

このように本実施例の口座特定用記録媒体読み取り手段であるキャッシュカードリーダー３１６を構成するリーダー部３０６においては、前記キャッシュカードを利用者が所持した状態にて該キャッシュカードの記録情報を読み取り可能とされており、キャッシュカードが利用者の手元より離れることがなく、該キャッシュカードの取り忘れを皆無或いは著しく低減することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、こ
20 れらキャッシュカードを取り込んで読み取る構成としても良い。

【００３２】

また、前記入力操作部３０５は、図４及び図５に示すように、前記カードユニット３の前面部に開閉可能に設けられた一方が開口する箱状のカバー部材３２７の内面底部に配置されており、利用者が暗証番号の入力を行う暗証番号入力部３２９と、前記カバー部材３２７を開放することにより表出する位置に設けられていて、追加入金額（１０００円、３０
000円、５０００円）を選択して追加入金額を決定する際に押圧操作される金額選択入力部３３２と、その上部に形成された凹部３３０の底面に設けられた追加入金の案内や暗証番号等を表示可能な表示部３３１と、から構成されており、前記カバー部材３２７の一端は前記カードユニット３の前面所定箇所に軸支され、利用者が前記カバー部材３２７の他
30 端に設けられた取手３２８を摘んで開放することにより、該カバー部材３２７の内面が対応するパチンコ機２の方向へ向くように開放し、その開放終端位置において前記カバー部材３２７の内面の暗証番号入力部が前記パチンコ機２のほぼ正面に位置する利用者に向くようになるとともに、前記選択入力部３３２並びに表示部３３１が表出するようになっている。

【００３３】

このように本実施例では、利用者が所持するキャッシュカードにおける暗証番号の入力を行う暗証番号入力部３２９が、箱状のカバー部材３２７の内面底部に設けられているとともに、前記暗証番号の入力に伴い、入力された暗証番号等が表示される表示部３３１が凹部３３０の底面に設けられているため、前記暗証番号の入力や該入力に伴い表示される暗
40 証番号を第三者に容易に視認されてしまうことを極力回避できるようになっている。

【００３４】

また、本実施例では、金額選択入力部３３２の操作に伴い、追加入金額を１０００円、３０００円、５０００円から選択できるようになっており、利用者は所望の金額を選択できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら追加入金額を利用者がより詳細に入力できる入力手段を設けるようにしても良く、更には、これら追加入金額を単一（例えば３０００円）として追加入金に伴う処理を簡略化するようにしても良い。

【００３５】

また、前記リーダー部３０６は前記入力操作部３０５におけるカバー部材３２７の下部近傍
50

に設けられているため、該カバー部材 3 2 7 を開放した状態においてのみ、リーダ部 3 0 6 におけるスリット 3 0 7 の上方が露呈するようになっており、前記カバー部材 3 2 7 を開放し、キャッシュカードにて追加入金を実施する状態において初めて該キャッシュカードをスリット 3 0 7 内にスライド可能となるようになっている。

【0036】

これらカードユニット 3 の構成を説明すると、図 6 に示すように、前記動作ランプ 3 0 1 や、紙幣インジケータ 3 0 3 や、IC カードインジケータ 3 1 3 や、レシートインジケータ 3 3 5 や、暗証番号入力部 3 2 9 や、金額選択入力部 3 3 2 や、表示部 3 3 1 に加えて、前記紙幣挿入口 3 0 4 に連設されて投入紙幣の検出および該紙幣の種類と真贋の識別を行い、投入された紙幣が正規の紙幣である場合に該投入された紙幣を背面側の紙幣回収口 3 4 3 より排出するとともに、正規の紙幣でない場合に投入された紙幣を前記紙幣挿入口 3 0 4 より返却する紙幣識別ユニット 3 1 5 と、前記リーダ部 3 0 6 のスリット 3 0 7 内をスライドさせたキャッシュカードより所定の識別情報の読み出しを実施するキャッシュカードリーダ 3 1 6 と、前記 IC カード挿入口 3 1 4 に連設され、挿入される IC カード 3 7 に記録されている後述の識別情報 (ID) や遊技用価値である度数の読み出し並びに遊技により更新された新たな度数の書き込み等を行うとともに、前記挿入されている IC カード 3 7 より読み出された度数が 0 度となった際に該挿入されている IC カード 3 7 を背面側のカード排出口 3 5 4 より排出する遊技用記録媒体処理手段としての IC カードリーダライタ 3 1 7 と、前記レシート排出口 3 3 4 に連設され、内部に収容されたプリント紙に追加入金金額等が記載される利用明細としてのレシートを印刷して前記レシート排出口 3 3 4 に排出するプリンタ 3 3 6 と、前記表示部 3 3 1 の表示制御を実施する表示ドライバ 3 3 3 と、前記挿入された IC カード 3 7 から読み出しおよび書き込まれる度数等を記憶するとともに、後述する MPU 3 2 1 が実行する制御内容等が記述された制御プログラム等を記憶する記憶部 3 1 8 と、前記接続ケーブル 2 6 2 が接続され、前記パチンコ機 2 の賞球制御基板 2 3 7 や操作基板 1 8 との各種信号の入出力が行われる I/O ポート 3 1 9 と、通信ケーブル 4 8 を介して前記システムコントローラ 1 0 0 とデータ送受を行う通信部 3 2 5 と、投入された紙幣の金額や前記キャッシュカードより読み取られた情報に基づいて追加入金される金額に対応する度数を前記挿入されている度数に加算更新するとともに、各部並びに前記操作基板 1 8 に実装された度数表示部 1 7 の表示制御等を行う本実施例の遊技用価値加算更新手段としての前記マイクロプロセッシングユニット (MPU) 3 2 1 と、を具備しており、これら各部は図 6 に示すように接続されている。

【0037】

また、これら各カードユニット 3 は、通信ケーブル 4 8 を介してシステムコントローラ 1 0 0 に接続されており、前記 IC カード 3 7 が挿入された場合や、該挿入されている IC カード 3 7 から読み出されて記憶部 3 1 8 に記憶されている度数に変更が加えられた場合や、該挿入されている IC カード 3 7 の返却処理並びに回収処理等が行われた場合に、該 IC カード 3 7 に記録された後述の識別情報 (ID) や度数データ、変更された度数データ等が前記システムコントローラ 1 0 0 に出力されるようになっており、前記キャッシュカードリーダ 3 1 6 から読み出された口座を特定可能な情報や追加入金しようとする金額 (価値加算要求金額) の情報とが、システムコントローラ 1 0 0 に送信されるようになっている。

【0038】

また、本実施例のシステムコントローラ 1 0 0 は、図 6 並びに図 1 5 に示すように、電話回線 4 2 1 を介して後述する決済処理機関である決済処理センター (JD センター) に設置されている決済サーバコンピュータ 2 2 とデータ通信を行うために遊技場内の所定位置に設置されたターミナルユニット 2 3 に接続されていて、システムコントローラ 1 0 0 と前記決済サーバコンピュータ 2 2 とが双方向のデータ通信が可能に構成されており、システムコントローラ 1 0 0 に接続されている各カードユニット 3 並びに各発行入金機 4 3 0 から送信されてくるキャッシュカードの記録情報とプリペイドカードに対する追加入金に使用する追加入金金額或いはプリペイドカードの発行に使用する発行金額との情報に基づ

いて、これら追加入金金額や発行金額の決済処理を、該決済サーバコンピュータ22との間において実施できるようにされているとともに、該システムコントローラ100において、これらキャッシュカードの口座を特定可能な記録情報に対応付けて追加入金金額や発行金額の利用履歴が登録されるとともに、該利用履歴に基づいて、1日における利用合計額が利用限度額を越えた場合には、その追加入金や発行の処理を許諾しないようになっている。

【0039】

ここで、本実施例に用いた前記ICカードリーダーライタ317の構成を図7に基づいて説明すると、該ICカードリーダーライタ317の内部には、前記ICカード挿入口314からのICカード37の挿入を検知する挿入センサ397や、前記ICカード挿入口314から延設され、ICカード37がスライド可能とされ、後部に設けられたカード回収口354に連設されたガイドレール398と、該ガイドレール398を挟むように配設されて該ICカード37の移動を、駆動モータ386、393にて駆動回転されることにより実施する搬送ローラ387、388と、前記搬送ローラ387、388の一方側に張架された搬送ベルト391と、から成る搬送機構や、該搬送されるICカード37を所定位置に停止させるストップピンの出沒を行うソレノイド389や、所定位置に停止されたICカード37への給電やデータ通信を行う通信ヘッド390や、前記の各部に接続されてその制御を実施する制御基板392が設けられており、挿入されているICカード37へのデータの読み取り及び書き込みが非接触状態にて可能とされている。

【0040】

また、前記ICカード37より読み出された遊技用価値である度数が「0（無価値）」となった場合には、前記ソレノイド389によりストップピンが上方に励磁された状態にてICカード37が搬送ベルト391並びに搬送ローラ387、388により付勢されて後方に向かって搬送され、これらICカード37がカード回収口354より前記カード回収路352を介して前記カード搬送路350へ排出されて回収されるようになっている。

【0041】

このICカードリーダーライタ317に挿入されて使用される本実施例の遊技用記録媒体であるICカード37の構成は、図8に示すように所定厚みとされ、その内部が凹状とされた樹脂製の基体381の該凹部外周所定位置に、テープオートボンディング（TAB）実装によりその内部にメモリ（図示せず）を内蔵した専用マイコン382が実装されるとともに、該専用マイコン382から該基体381の外周に沿うように設けられたパターンコイル383を有するフレキシブルプリント基板384が内挿され、該凹部全面がトップフィルム385にて覆われた構成とされており、これらICカード37は、前記ICカードリーダーライタ317に挿入されることで、該リーダーライタから出力される電磁波が前記パターンコイル383に誘導起電力を生じさせて前記専用マイコン382が動作可能に付勢されるとともに、該パターンコイル383を介して図7に示す前記ICカードリーダーライタ317との各種のデータ通信を電磁波により非接触にて実施可能とされた非接触ICカードとされている。

【0042】

このように、本実施例においては、遊技用記録媒体であるプリペイドカードとして非接触ICカード37を用いており、非接触状態にてデータ通信が可能となることから、従来の遊技用記録媒体である磁気カードに比較して損耗が少なく、長期に渡ってICカード37繰返し使用できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではない。

【0043】

尚、本実施例においては使用されるICカード37を、前記発行入金機430により発行されるプリペイドカード（ビジターカード）とした例を示すが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらICカードを特定の会員に予め発行された会員カードとして使用するようにしても良く、この場合には、記録されている度数が「0」となっても会員カードは回収されずに返却される。

【0044】

10

20

30

40

50

これら I C カード 37 は、図 1 に示す発行入金機 430 にて利用者が購入できるようになっており、該購入に伴い新規に発行される I C カード 37 においては、個々の I C カード 37 を識別可能な識別情報 (I D) が発行時において前記システムコントローラ 100 により各 I C カード 37 毎に付与されて記録されるとともに、該システムコントローラ 100 には、これら各 I C カード 37 に記録された度数情報等が各 I D 毎に登録され、前記 I C カード 37 に記録された度数が、カードユニット 3 における後述の貸出処理の実施により減算されたり、該カードユニット 3 もしくは前記発行入金機 430 における追加入金処理の実施により加算される等、該 I C カード 37 の記録情報が変更される毎に前記システムコントローラ 100 に登録された各 I D 毎の情報も逐次更新されて同様の情報に更新されるようになっており、これら発行された I C カード 37 の記録内容が前記システムコントローラ 100 により管理されるようになっている。

10

【0045】

上述のように構成されたカードユニット 3 においては、前記 I C カード挿入口 314 に I C カード 37 が挿入されることで、I C カードリーダライタ 317 により該挿入された I C カード 37 に記録された度数が読み出され、記憶部 318 に記憶されるとともに、度数表示部 17 に表示され、前記記憶された度数が残存する場合に利用者により前記貸出ボタン 16 が入力されることで、パチンコ機 2 に貸出指示信号を出力し、前記パチンコ機 2 の遊技に使用される所定数のパチンコ玉を払出させるとともに、該払出の完了とともに出力される払出完了信号に基づき、前記記憶された度数並びに度数表示部 17 の度数を所定度数分減算更新する貸出処理が実施される。

20

【0046】

また、前記カードユニット 3 においては、後に詳述するように、前記挿入されている I C カード 37 から読み出された度数が残存する場合に、利用者が所持するキャッシュカードを用いて、所定の操作を実施することで、該操作により特定される入金金額に基づく度数を前記残存する度数に加算するキャッシュカードによる追加入金処理が可能とされている。

【0047】

更に、前記カードユニット 3 においては、前記挿入されている I C カード 37 から読み出された度数が残存する場合に、利用者により紙幣が前記紙幣挿入口 304 から投入されることで、該投入された紙幣の金額に基づく度数を前記残存する度数に加算する紙幣による追加入金処理も可能とされている。

30

【0048】

このように本実施例では、キャッシュカードによる追加入金のみならず、現金である紙幣においても追加入金が可能とされており、現金とキャッシュカードの双方にて前記挿入されている I C カード 37 への追加入金が可能とされており、このようにすることは利用者の利便性を向上できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、少なくとも、前記キャッシュカードによる追加入金が可能とされているようにすれば良い。

【0049】

また、カードユニット 3 においては、前記挿入されている I C カード 37 から読み出された度数が残存する場合に、返却ボタン 15 が入力されることで、前記記憶部 318 に記憶されているその時点での残存する度数を該挿入されている I C カード 37 の記録内容に上書き更新して、I C カード挿入口 314 より排出する返却処理が実施されるようになってい

40

【0050】

次いで、本実施例において用いた発行入金機 430 を、図 9 ~ 図 11 に基づいて説明すると、該発行入金機 430 は、前記遊技島 1 の島端に前記収容部 360 と隣接して配置され (図 1 参照) 、その外観形状は図 9 に示すようになっている。該発行入金機 430 は、その前面に、前記 I C カード 37 の発行及び追加入金処理が可能であることを利用者に報知するための動作ランプ 401 と、紙幣を挿入可能とされた紙幣挿入口 433 と、該紙幣挿

50

入口４３３に挿入された紙幣の返却を利用者に報知する紙幣インジケータ４４２と、中止／返却ボタン４３６と、ＩＣカード挿入口４３８と、該ＩＣカード挿入口４３８からのＩＣカード３７の排出を報知するＩＣカードインジケータ４３９と、キャッシュカードを挿入及び返却可能なキャッシュカード挿入口４０２と、該キャッシュカード挿入口４０２からのキャッシュカードの排出を報知するキャッシュカードインジケータ４０３と、該発行入金機４３０のガイド等が表示可能な表示部４０４及び利用者が操作可能な入力部４０５からなる操作部４２７と、後述する利用明細としてのレシートが排出されるレシート排出口４０８と、該レシート排出口４０８からレシートが排出されていることを報知するレシートインジケータ４０９と、が設けられている。

【００５１】

10

前記操作部４２７は、該発行入金機４３０の前面に形成された凹部４２６の底面に設けられており、前記表示部４０４に表示される暗証番号や入力部４０５の入力内容等が第三者に容易に視認されてしまうことを極力回避できるようになっている。

【００５２】

また、該操作部４２７の入力部４０５には、図１０に示すように、購入または入金金額を選択する金額入力キー４２２（１０００円、３０００円、５０００円、１００００円）と、後述する暗証番号を入力するテンキー４２３（０～９）と、前記金額入力キー４２２やテンキー４２３による入力を訂正するキャンセルキー４２４と、前記紙幣挿入口４３３に投入した紙幣の合計金額を購入または入金金額として決定するとともに、前記テンキー４２３にて入力した暗証番号を決定する決定キー４２５と、が設けられている。

20

【００５３】

このように本実施例では、金額入力キー４２２の操作に伴い、発行金額または追加入金額を１０００円、３０００円、５０００円、１００００円から選択できるようになっており、利用者は所望の金額を選択できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら発行金額や追加入金額を利用者がより詳細に入力できる入力手段を設けるようにしても良く、更には、これら発行金額や追加入金額を単一（例えば３０００円）としてＩＣカード３７の発行や追加入金に伴う処理を簡略化するようにしても良い。

【００５４】

この発行入金機４３０の構成は、図１１のブロック図に示すようになっており、前記動作ランプ４０１や、紙幣インジケータ４４２や、中止／返却ボタン４３６や、ＩＣカードインジケータ４３９や、キャッシュカードインジケータ４０３や、表示部４０４や、入力部４０５や、レシートインジケータ４０９とともに、前記紙幣挿入口４３３に連設されて投入紙幣の検出および該紙幣の種類と真贋の識別を行い、投入された紙幣が正規の紙幣であり、前記決定キー４２５が操作された場合に該投入された紙幣を図示しない紙幣ストッカーに貯留するとともに、正規の紙幣でない場合に投入された紙幣を前記紙幣挿入口４３３より返却する紙幣識別ユニット４４４と、前記ＩＣカード挿入口４３８に連設され、挿入されるＩＣカード３７に記録されている各種情報の読み出しを行うとともに、該ユニット後部に発行されるＩＣカード３７を貯溜、供給する供給ユニット（図示略）を具備し、前記挿入または発行されるＩＣカード３７に前記ＩＤ等の所定の各種情報の書き込みを非接触にて実施するＩＣカードリーダーライタ４４５と、前記キャッシュカード挿入口４０２に連設され、挿入されるキャッシュカードより所定の識別情報の読み出しを実施するキャッシュカードリーダー４１３と、前記レシート排出口４０８に連設され、内部に収容されたプリント紙に購入（入金）金額等が記載される利用明細としてのレシートを印刷して前記レシート排出口４０８に排出するプリンタ４１４と、前記表示部４０４の表示動作の制御を行う表示ドライバ４１７と、前記ＩＣカード３７より読み出しまたは書き込みされる前記各種情報や、後述するマイクロプロセッシングユニット（ＭＰＵ）４４８の制御内容が記述された制御プログラム等を記憶する記憶部４４６と、前記システムコントローラ１００と通信ケーブル４８を介してデータ送受を行うための通信部４２９と、投入された紙幣の金額や前記挿入されたキャッシュカードの記録情報に基づいて入金された金額に対応する度数を記録したＩＣカード３７を発行する発行処理や、前記挿入されているＩＣカード３

30

40

50

7の残度数に加算更新する価値加算処理や各部の制御等を行う価値加算更新手段としてのマイクロプロセッシングユニット(MPU)448と、を具備しており、これら各部は図11に示すように接続されており、紙幣の投入または前記キャッシュカードを用いてプリペイドカードである前記ICカード37の新規発行及び追加入金処理が可能とされている。

【0055】

このように本実施例では、キャッシュカードによるICカード37の新規発行並びに追加入金のみならず、現金である紙幣においても前記新規発行並びに追加入金が可能とされており、現金とキャッシュカードの双方にてICカード37の新規発行並びに追加入金が可能とされており、このようにすることは、利用者の利便性を向上できることから好ま

10

【0056】

また、発行入金機430は、図6並びに図15に示すように、通信ケーブル48を介して前記システムコントローラ100に接続されており、ICカード37の新規発行に際して生成されるID並びに追加入金時において挿入されているICカード37のIDや、これらICカードに記録される記録情報が前記システムコントローラ100に出力されるようになっているとともに、前記キャッシュカードリーダー413により読み取られたキャッシュカードの記録情報や発行金額或いは追加入金金額の情報がシステムコントローラ100に出力され、これらの情報とともに決済要求が前記ターミナルユニット23を通じて前記

20

【0057】

次いで、本実施例におけるシステムコントローラ100について説明すると、該システムコントローラ100は、図12に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス101に、該システムコントローラ100が実施する各種処理や後述のカード管理DBの更新処理等を行うCPU102、ワークメモリ等として使用されるRAM103、時刻情報やカレンダー情報を出力するRTC104、磁気ディスクや光磁気ディスクから成る記憶装置105、キーボードやマウス等の入力装置106、各種情報を表示出力する表示装置107、各種情報をプリント出力するプリンタ108、前記ターミナルユニット23とのデータ通信を行う第1通信部109、前記カードユニット3(カードリーダー327)とのデータ通信を行う第2通信部110が接続された通常のコンピュータである。

30

【0058】

また、前記記憶装置105には、該システムコントローラ100の処理を実施するための処理プログラムに加えて、前記発行入金機430にて発行された各プリペイドカード毎の残度数が登録されて管理されるカード管理データベースや、図13に示すように、キャッシュカードを利用した発行や追加入金において決済処理を実施した処理履歴が登録、管理される決済履歴データベースや、図14(b)に示すように、利用限度額を超過したキャッシュカードの口座番号を含むカード情報が登録された利用不可カードテーブルが記憶されており、前記決済履歴データベースに登録されている決済履歴において、その当日内に同一のキャッシュカードにて発行並びに追加入金に使用された合計金額をシステムコントローラ100が算出できるようになっているとともに、該合計金額が予め定められている利用限度額を超過した場合に、そのキャッシュカードの口座番号を含むカード情報が前記利用不可カードテーブルに、図14(a)に示す利用限度額設定画面にて設定される利用不可期間に亘って登録されることで、そのキャッシュカードの利用ができないように規制されるようになっている。

40

【0059】

50

また、前記図14(a)に示す利用限度額設定画面に示すように、一日にキャッシュカードを使用して決済を行うことのできる利用限度額を変更できるようになっており、本実施例では、一日の利用限度額が2万円に設定されている。

【0060】

このように、利用限度額を設定する所定期間を1日単位とすることは、遊技者に1日単位にて節度を持った利用を行わせることができるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら所定期間を2日や一週間単位、或いは1ヶ月単位にて実施するようにしても良い。

【0061】

また、本実施例では、図14(a)に示すように、前記利用不可カードテーブルに登録されることで利用不可とされる利用不可期間設定部を利用限度額設定画面に設けているとともに、該利用不可期間設定部には、「利用不可カード情報を表示」の選択入力部が設けられていて、該選択入力部を選択入力することで、図14(b)に示すように、図14(b)に示すように、その時点において前記利用不可カードテーブルに登録されている利用不可とされたキャッシュカードが一覧表示される利用不可カード情報表示画面が表示されるようになっており、該利用不可カード情報表示画面の内容を、該画面の下部に設けられている「プリント」の選択項目を選択入力することで、該利用不可とされたキャッシュカードの一覧が前記プリンタ108から印刷出力される。

【0062】

このように本実施例では、利用限度額設定手段である利用限度額設定画面をシステムコントローラ100に設けて、適宜に利用限度額を変更できるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら利用限度額が一義的に変更不可とされたものであっても良い。

【0063】

また、本実施例では、利用限度額設定手段である利用限度額設定画面をシステムコントローラ100に設けているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら利用限度額設定手段を、各カードユニット3や各発行入金機430に設けた形態としたり、前記決済処理センター(JDセンター)に設置されている決済サーバコンピュータ22側にてこれら利用限度額を設定できるようにしても良い。

【0064】

以下、本実施例における前記発行入金機430による前記ICカード37の発行処理について説明する。

【0065】

まず、利用者が現金である紙幣を用いて新規にICカード37の発行を受けたい場合には、遊技に供したい所望の金額分の紙幣、例えば3000円を紙幣挿入口433より投入する。

【0066】

該投入された紙幣は、前記紙幣識別ユニット444により識別され、該紙幣識別ユニット444より出力される識別情報に基づき、前記MPU448がその合計金額を算出して「決定ボタンの入力によりカードを発行します」のメッセージとともに前記表示部404に表示して、該合計金額を前記記憶部446に記憶する。

【0067】

該合計金額の表示を確認した後、利用者は前記決定ボタン425を入力する。

【0068】

これにより、前記MPU448は、ICカード37の発行に供される発行金額を特定し、該発行金額を度数に変換し、前記記憶部446に記憶するとともに、該度数を特定可能な度数データを、発行処理要求とともに前記システムコントローラ100に前記通信部449及び通信ケーブル48を介して出力する。

【0069】

該発行処理要求の送信出力に基づき、前記システムコントローラ100は、新規発行と判

断して、新たな I D の生成を所定の規則に基づき実施するとともに、前記送信された度数データに基づく度数を I D に対応付けて登録し、前記発行入金機 4 3 0 に前記生成した新たな I D を、前記登録の完了とともに返信する。

【0070】

該返信に基づき前記 M P U 4 4 8 は、前記記憶部 4 4 6 に記憶されている度数を、前記返信された新たな I D とともに、前記 I C カードリーダーライタ 4 4 5 を介して前記 I C カード 3 7 に記録するとともに、該 I C カード 3 7 を前記 I C カード挿入口 4 3 8 より排出・発行し、カードインジケータ 4 3 9 を点滅させる。

【0071】

次いで、利用者がキャッシュカードを用いて新規に I C カード 3 7 の発行を受けたい場合について、図 1 6 に基づき説明すると、利用者は前記キャッシュカード挿入口 4 0 2 に、自己が所有する金融機関発行のキャッシュカードを挿入するとともに、発行を受けたい金額、例えば 5 0 0 0 円ボタンを、前記金額入力キー 4 2 2 より選択して入力する。

【0072】

前記挿入されたキャッシュカードは、前記キャッシュカードリーダー 4 1 3 により検出されて、該挿入された利用者のキャッシュカードより利用者の取引金融機関を識別する銀行番号、支店番号、口座番号の各情報が読み出されるとともに、前記 M P U 4 4 8 はこれら各データを含むカード情報とともに前記選択入力された発行金額である 5 0 0 0 円の情報を、前記システムコントローラ 1 0 0 へ送信する。

【0073】

該送信を受けてシステムコントローラ 1 0 0 は、送信されてきた銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報に基づき、その当日の該キャッシュカードの利用合計金額を、前記決済履歴データベースから銀行番号、支店番号、口座番号が一致する当日の利用履歴を抽出して、各履歴の決済金額を合計することで算出し、該利用合計金額が前記利用限度額設定画面にて設定されている利用限度額未満であるか否かを判定するとともに、銀行番号、支店番号、口座番号が一致する登録が、前記利用不可カードテーブルに登録されているかを確認する。

【0074】

これら判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額未満であって利用不可カードテーブルに登録がない場合において、前記銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報並びに発行金額である 5 0 0 0 円の情報と決済要求とを決済処理センター（J D センター）に設置されている決済サーバコンピュータ 2 2 へ送信する。

【0075】

また、前記判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額以上であるか、或いは利用不可カードテーブルに登録がある場合においては、システムコントローラ 1 0 0 は、送信元の発行入金機 4 3 0 に対して、発行処理の不可（不許可）を通知することにより、発行入金機 4 3 0 における発行が中止され、受け付けているキャッシュカードが返却される。尚、利用合計金額が利用限度額以上である場合に関しては、そのキャッシュカードのカード情報を利用不可カードテーブルに登録する。

【0076】

前記システムコントローラ 1 0 0 からの決済要求の送信に基づき、決済サーバコンピュータ 2 2 においては、送信データである銀行番号、支店番号、口座番号並びに発行金額の各データを一時的に記憶するとともに、前記金融機関情報ネットワークを介して利用者の取引銀行のホストコンピュータ 2 0 へ支店番号、口座番号データ並びに口座残高の照会依頼を出力する。

【0077】

これを受けて、利用者の取引銀行のホストコンピュータ 2 0 は、送信されてきた支店番号、口座番号に該当する口座の残額をデータベースを検索して確認し、残額データ並びに暗証番号データとを前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 2 2 へ返信する。

【0078】

10

20

30

40

50

該返信に基づいて決済サーバコンピュータ 22 は、返信されてきた利用者の口座残額と暗証番号とを一時記憶するとともに、該口座残額と発行金額とを比較して発行金額の決済が可能であるか否かを判断し、決済の可否を前記システムコントローラ 100 に返信する。

【0079】

この決済の可否の返信を受けてシステムコントローラ 100 は、返信内容が「決済不可」である場合には、発行処理の中止を送信元の発行入金機 430 に送信することで、プリペイドカードである IC カード 37 の発行が中断され、発行入金機 430 の前記表示部 404 に「残額エラーにてご利用できません」のメッセージが表示される。

【0080】

一方、前記決済サーバコンピュータ 22 からの返信内容が「決済可」である場合には、システムコントローラ 100 は、暗証番号の出力要求を送信元の発行入金機 430 に送信することで、該発行入金機 430 の前記表示部 404 に暗証番号の入力を促す「暗証番号を入力して下さい」のメッセージが表示される。

【0081】

該メッセージの表示を受けて、利用者が前記テンキー 423 を操作して暗証番号を入力して、決定ボタン 425 を入力すると、前記 MPU 448 が該入力された暗証番号データをシステムコントローラ 100 に送信することで、該送信された暗証番号データがシステムコントローラ 100 に中継されて前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ送信される。

【0082】

この暗証番号データの送信を受けて決済サーバコンピュータ 22 は、前述の一時記憶されている暗証番号と受信した暗証番号データとを照合し、その照合結果を返信する。該返信された照合結果が一致して正しい場合においてのみ、前記システムコントローラ 100 が送信元の発行入金機 430 に対し、発行処理の許諾を通知する。

【0083】

該許諾通知を受けた発行入金機 430 の MPU 448 は、前記選択された発行金額を度数（1000 円毎に 10 度）に変換し、前述した紙幣による処理と同様に前記システムコントローラ 100 とのデータのやり取りを実施して、該システムコントローラ 100 により生成され、返信された新たな ID とともに、前記 IC カードリーダーライタ 445 を介して前記変換された度数を IC カード 37 に記録し、該 IC カード 37 を前記 IC カード挿入口 438 より排出・発行して、カードインジケータ 439 を点滅させるとともに、利用明細であるレシートを前記レシート排出口 334 より発行させて、該レシートの発行を報知するためにレシートインジケータ 335 を点滅点灯させる。

【0084】

また、この際、前記システムコントローラ 100 からは、利用可能限度額から新たに発行に使用された発行金額を、それまでの前記利用履歴に基づく合計金額に加えた新たな合計金額を差し引いた利用可能残額が算出されて送信元の発行入金機 430 に送信されることで、図 10 に示す表示例のように、表示されるようになっている。

【0085】

また、このキャッシュカードを用いた IC カード 37 の発行処理の完了後において、前記発行入金機 430 の MPU 448 は発行完了をシステムコントローラ 100 に送信することで、該発行完了が前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ中継されて、該発行完了の受信に基づき前記発行金額である 5000 円が、遊技場の決済履歴として決済サーバコンピュータ 22 に登録されるとともに、発行金額の引落とし決済の依頼が前記利用者の取引金融機関のホストコンピュータ 20 に出力されて、前記発行金額が利用者の口座残額より迅速に引き落とされて、即時決済が実施されるようになっている。

【0086】

また、前記のように遊技場の決済履歴に登録された発行金額は 1 日毎に集計されて、その合計金額から所定の決済手数料が減額された金額が所定の期間、例えば 4 営業日を経た後に、遊技場の取引銀行のホストコンピュータ 21 へ入金処理が送信されることで、遊技場

の口座へ振り込まれるようになっている。

【0087】

尚、前記発行入金機430において、これらICカード37の発行中に前記中止／返却ボタン436が入力されると、これら発行処理は中止され、投入された紙幣や挿入されたキャッシュカードは返却されるようになっている。

【0088】

これら発行されたICカード37は、利用者により選択されたパチンコ機2に対応する前記カードユニット3のICカード挿入口314に挿入されて使用される。

【0089】

これら発行されたICカード37の使用状況を説明すると、まず利用者は前記にて発行されたICカード37を前記ICカード挿入口314に挿入する。 10

【0090】

この挿入に基づき、前記ICカードリーダーライタ317は、該ICカード37の挿入を検知して前記搬送機構にて該ICカード37を内部に取り込み、前記通信ヘッド390より該ICカード37に記録されている前記IDと度数とを読み出す。

【0091】

これらICカード37より読み出された度数は、前記記憶部318に一時記憶され、前記読み出されたIDとともに通信部325及び通信ケーブル48を介してシステムコントローラ100に出力される。

【0092】

システムコントローラ100は該出力に基づき、カードユニット3より出力されてきたIDに対応する度数が一致するかを比較し、これが一致したことを条件に該カードユニット3に挿入されたICカード37の使用許諾を返信し、該比較が一致しない場合には、ICカード37の排出指示を返信する。 20

【0093】

前記使用許諾の返信に基づき、カードユニット3の前記MPU321は、前記記憶部318に記憶された度数を前記度数表示部17に表示させる。

【0094】

この段階において、利用者は前記操作部14に設けられている貸出ボタン16を入力することにより、前記貸出処理が実施され、度数表示部17に表示されている度数及び記憶部318に記憶された度数の内、所定数の度数（本実施例では5度）が減算されて所定数のパチンコ玉（本実施例では25玉）の払出が行われる。 30

【0095】

この際、前記減算された度数が前記挿入されているICカード37のIDとともにシステムコントローラ100に出力され、該システムコントローラ100に登録されている前記IDに対応する度数からは前記減算された度数分が減算更新される。

【0096】

前述のように貸出ボタン16が入力されてパチンコ玉が払い出されることで、該払い出されたパチンコ玉を使用して利用者が遊技を実施できるようになり、前記パチンコ玉が使用され、少なくなるか若しくは無くなった場合には、利用者は再び前記貸出ボタン16を入力することで、パチンコ玉が払い出され遊技を継続できるようになっている。 40

【0097】

これら度数の使用（減算）により、残度数が少なくなった際には、利用者は、一度ICカード37を返却させて、前記発行入金機430に再度挿入し、紙幣を投入するか、カードユニット3に設けられている前記紙幣挿入口304より紙幣を投入するか、或いは利用者が所持するキャッシュカードを用いることにより、発行入金機430における追加入金処理と同様の追加入金処理を受けられるようになっている。尚、本実施例のカードユニット3では、前記ICカード37より読み出された度数が0となると回収されてしまうことから、該度数が残存する場合においてのみ前記追加入金処理が実施可能となっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら度数が0となったICカード37を、新規 50

の I C カード 37 が挿入されるまで滞留させておき、これら度数が 0 となった I C カード 37 に追加入金を実施できるようにしても良い。

【0098】

これら追加入金処理の処理状況を、前記カードユニット 3 を使用する場合について説明する。

【0099】

まず、紙幣の投入に基づく処理状況を説明すると、前記のように、残度数が少なくなった場合には、利用者が更に遊技に供したい所望の金額、例えば 1000 円札を、前記カードユニット 3 に設けられている紙幣挿入口 304 より投入すると、該投入は前記紙幣識別ユニット 315 により識別され、該識別が「NG」である場合には、前記 1000 円札を返却するとともに、前記紙幣インジケータ 303 を所定時間点減させて利用者に紙幣の返却を報知し、該識別が「OK」である場合には、該識別により前記紙幣識別ユニット 315 から出力される識別情報に基づき、前記 M P U 321 はその識別情報に基づく投入金額を度数に変換し（1000 円毎に 10 度）、該変換された度数に基づく度数データと挿入されている I C カード 37 の I D とを前記システムコントローラ 100 に出力する。

【0100】

システムコントローラ 100 では、前記出力された情報に基づいて、該当する I D の度数に前記出力された度数データに基づく度数を加算更新した後、更新処理の完了を前記カードユニット 3 に返信する。

【0101】

この返信に基づき、前記 M P U 321 は更新処理が完了したことを認知して、前記変換された度数を前記度数表示部 17 の度数及び記憶部 318 に記憶された度数に加算更新させる。

【0102】

次いで、前記キャッシュカードを用いた処理状況を、図 16 に基づいて説明すると、前記したように、残度数が少なくなった場合には、前記カードユニット 3 の前面に設けられている前記キャッシュカードリーダー 316 のリーダー部 306 に、自己が所有する金融機関発行のキャッシュカードをスライドさせるとともに、追加入金したい金額、例えば 3000 円ボタンを、前記金額選択入力部 332 より選択して入力する（図 10 参照）。

【0103】

前記キャッシュカードのスライドは、前記リーダー部 306 の磁気リーダーにより検出されて、該スライドされた利用者のキャッシュカードより利用者の取引金融機関を識別する銀行番号、支店番号、口座番号の各情報が読み出されるとともに、前記 M P U 321 はこれら各データとともに前記選択入力された入金金額である 3000 円の情報を、前記システムコントローラ 100 へ送信する。

【0104】

該送信を受けてシステムコントローラ 100 は、送信されてきた銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報に基づき、その当日の該キャッシュカードの利用合計金額を、前記決済履歴データベースから銀行番号、支店番号、口座番号が一致する当日の利用履歴を抽出して、各履歴の決済金額を合計することで算出し、該利用合計金額が前記利用限度額設定画面にて設定されている利用限度額未満であるか否かを判定するとともに、銀行番号、支店番号、口座番号が一致する登録が、前記利用不可カードテーブルに登録されているかを確認する。

【0105】

これら判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額未満であって利用不可カードテーブルに登録がない場合において、前記銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報並びに追加入金金額である 3000 円の情報と決済要求とを決済処理センター（J D センター）に設置されている決済サーバコンピュータ 22 へ送信する。

【0106】

また、前記判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額以上である

10

20

30

40

50

か、或いは利用不可カードテーブルに登録がある場合においては、システムコントローラ 100 は、送信元のカードユニット 3 に対して、発行処理の不可（不許可）を通知することにより、カードユニット 3 における追加入金が中止される。尚、利用合計金額が利用限度額以上である場合に関しては、そのキャッシュカードのカード情報を利用不可カードテーブルに登録する。

【0107】

前記システムコントローラ 100 からの決済要求の送信に基づき、決済サーバコンピュータ 22 においては、送信データである銀行番号、支店番号、口座番号並びに発行金額の各データを一時的に記憶するとともに、前記金融機関情報ネットワークを介して利用者の取引銀行のホストコンピュータ 20 へ支店番号、口座番号データ並びに口座残高の照会依頼を出力する。 10

【0108】

これを受けて、利用者の取引銀行のホストコンピュータ 20 は、送信されてきた支店番号、口座番号に該当する口座の残額をデータベースを検索して確認し、残額データ並びに暗証番号データとを前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ返信する。

【0109】

該返信に基づき決済サーバコンピュータ 22 は、返信されてきた利用者の口座残額と暗証番号とを一時記憶するとともに、該口座残額と入金金額とを比較して入金金額の決済が可能であるか否かを判断し、決済の可否をシステムコントローラ 100 に返信する。

【0110】

この決済の可否の返信を受けてシステムコントローラ 100 は、返信内容が「決済不可」である場合には、追加入金処理の中止を送信元のカードユニット 3 に送信することで、入金処理が中断され、カードユニット 3 の前記表示部 331 に「残額エラーにてご利用できません」のメッセージが表示される。 20

【0111】

一方、前記決済サーバコンピュータ 22 からの返信内容が「決済可」である場合には、システムコントローラ 100 は、暗証番号の出力要求を送信元のカードユニット 3 に送信することで、該カードユニット 3 の前記表示部 331 に暗証番号の入力を促す「暗証番号を入力して下さい」のメッセージが表示される。

【0112】

該メッセージの表示を受けて、利用者が前記暗証番号入力部 329 を操作して暗証番号を入力すると、前記 M P U 321 が該入力された暗証番号データをシステムコントローラ 100 に送信することで、該送信された暗証番号データがシステムコントローラ 100 に中継されて前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ送信される。 30

【0113】

この暗証番号データの送信を受けて決済サーバコンピュータ 22 は、前述の一時記憶されている暗証番号と受信した暗証番号データとを照合し、その照合結果を返信する。該返信された照合結果が一致して正しい場合においてのみ、前記システムコントローラ 100 が送信元のカードユニット 3 に対し、追加入金処理の承諾を通知する。

【0114】

該承諾通知を受けたカードユニット 3 の M P U 321 は、入金対象となる受け付け中の I C カード 37 の I D と入金金額の度数（1000 円毎に 10 度）とを、現金の追加入金処理と同様にシステムコントローラ 100 に送信する。 40

【0115】

システムコントローラ 100 では、該送信されてきた情報に基づいて、該当する I D の度数に前記出力された度数データに基づく度数を加算更新した後、更新処理の完了をカードユニット 3 に返信する。

【0116】

この返信に基づき、前記 M P U 321 は更新処理が完了したと認知して、前記入金金額の度数を前記度数表示部 17 の度数及び記憶部 318 に記憶された度数に加算更新するとと 50

もに、利用明細であるレシートを前記レシート排出口 3 3 4 より発行させて、該レシートの発行を報知するためにレシートインジケータ 3 3 5 を点滅点灯させる。

【0 1 1 7】

また、この際、前記システムコントローラ 1 0 0 からは、利用可能限度額から新たに追加入金に使用された追加入金金額を、それまでの前記利用履歴に基づく合計金額に加えた新たな合計金額を差し引いた利用可能残額が算出されて送信元のカードユニット 3 に送信されることで、図 5 に示す表示例のように、表示部 3 3 1 に表示されるようになっている。

【0 1 1 8】

また、このキャッシュカードを用いた追加入金処理の完了後において、前記 M P U 3 2 1 は入金完了をシステムコントローラ 1 0 0 に送信することで、該追加入金の完了が前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 2 2 へ中継されて、該追加入金完了の受信に基づき前記追加入金金額である 3 0 0 0 円が、遊技場の決済履歴に登録されるとともに、入金金額の引落し決済の依頼が前記利用者の取引金融機関のホストコンピュータ 2 0 に出力されて、前記入金金額が利用者の口座残額より迅速に引き落とされて、即時決済が実施されるようになっている。

【0 1 1 9】

次いで、これら追加入金処理の処理状況を、前記発行入金機 4 3 0 を使用する場合について説明する。

【0 1 2 0】

まず、紙幣の投入に基づく処理状況を説明すると、前記のように、残度数が少なくなった場合に、利用者は一度カードユニット 3 に挿入されている I C カード 3 7 を返却させて、前記発行入金機 4 3 0 の I C カード挿入口 4 3 8 に挿入する。

【0 1 2 1】

該挿入に基づいて、前記 I C カードリーダーライタ 4 4 5 により挿入された I C カード 3 7 に記録されている前記 I D と度数とが読み出され、該読み出された度数が記憶部 4 4 6 に記憶されるとともに前記表示部 4 0 4 に表示される。

【0 1 2 2】

次いで、利用者が入金した所望の金額、例えば 1 0 0 0 円札を、前記発行入金機 4 3 0 に設けられている紙幣挿入口 4 3 3 より投入すると、該投入は前記紙幣識別ユニット 4 4 4 により識別され、該識別が「N G」である場合には、前記 1 0 0 0 円札を返却するとともに、前記紙幣インジケータ 4 4 2 を所定時間点滅させて利用者に紙幣の返却を報知し、該識別が「O K」である場合には、該識別により前記紙幣識別ユニット 4 4 4 から出力される識別情報に基づき、前記 M P U 4 4 8 はその識別情報に基づく投入金額を度数に変換し（1 0 0 0 円毎に 1 0 度）、該変換された度数に基づく度数データと挿入されている I C カード 3 7 の I D とを前記システムコントローラ 1 0 0 に出力する。

【0 1 2 3】

システムコントローラ 1 0 0 では、前記出力された情報に基づいて、該当する I D の度数に前記出力された度数データに基づく度数を加算更新した後、更新処理の完了を前記発行入金機 4 3 0 に返信する。

【0 1 2 4】

この返信に基づき、前記 M P U 4 4 8 は更新処理が完了したことを認知して、前記変換された度数を前記記憶部 4 4 6 に記憶された度数に加算更新し、I C カードリーダーライタ 4 4 5 により、該更新された度数を挿入されている I C カード 3 7 に記録された度数に上書き更新して、I C カード挿入口 4 3 8 より排出するとともに、I C カードインジケータ 4 3 9 を点滅させて I C カード 3 7 の排出を報知する。

【0 1 2 5】

次いで、前記発行入金機 4 3 0 にて前記キャッシュカードを用いた追加入金の処理状況を、図 1 6 に基づき説明すると、前記のように、残度数が少なくなった場合に、利用者は一度カードユニット 3 に挿入されている I C カード 3 7 を返却させて、前記発行入金機 4 3 0 の I C カード挿入口 4 3 8 に挿入する。

10

20

30

40

50

【0126】

該挿入に基づいて、前記ICカードリーダー445により挿入されたICカード37に記録されている前記IDと度数とが読み出され、該読み出された度数が記憶部446に記憶されるとともに前記表示部404に表示される。

【0127】

次いで、利用者は自己が所有するキャッシュカードをキャッシュカード挿入口402に挿入するとともに、追加入金したい金額、例えば10000円ボタンを、前記金額選択キー422より選択して入力する。

【0128】

前記挿入されたキャッシュカードは、前記キャッシュカードリーダー413により検出されて、該挿入された利用者のキャッシュカードより利用者の取引金融機関を識別する銀行番号、支店番号、口座番号の各情報が読み出されるとともに、前記MPU448はこれら各データを含むカード情報とともに前記選択入力された発行金額である10000円の情報を、前記システムコントローラ100へ送信する。 10

【0129】

該送信を受けてシステムコントローラ100は、送信されてきた銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報に基づき、その当日の該キャッシュカードの利用合計金額を、前記決済履歴データベースから銀行番号、支店番号、口座番号が一致する当日の利用履歴を抽出して、各履歴の決済金額を合計することで算出し、該利用合計金額が前記利用限度額設定画面にて設定されている利用限度額未満であるか否かを判定するとともに、銀行番号、支店番号、口座番号が一致する登録が、前記利用不可カードテーブルに登録されているかを確認する。 20

【0130】

これら判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額未満であって利用不可カードテーブルに登録がない場合において、前記銀行番号、支店番号、口座番号の各情報を含むカード情報並びに発行金額である10000円の情報と決済要求とを決済処理センター（JDセンター）に設置されている決済サーバコンピュータ22へ送信する。

【0131】

また、前記判定並びに確認において、利用合計金額が利用限度額以上であるか、或いは利用不可カードテーブルに登録がある場合においては、システムコントローラ100は、送信元の発行入金機430に対して、発行処理の不可（不許可）を通知することにより、発行入金機430における追加入金が中止され、受け付けているキャッシュカードとICカード37が返却される。尚、利用合計金額が利用限度額以上である場合には、そのキャッシュカードのカード情報を利用不可カードテーブルに登録する。 30

【0132】

前記システムコントローラ100からの決済要求の送信に基づき、決済サーバコンピュータ22においては、送信データである銀行番号、支店番号、口座番号並びに発行金額の各データを一時的に記憶するとともに、前記金融機関情報ネットワークを介して利用者の取引銀行のホストコンピュータ20へ支店番号、口座番号データ並びに口座残高の照会依頼を出力する。 40

【0133】

これを受けて、利用者の取引銀行のホストコンピュータ20は、送信されてきた支店番号、口座番号に該当する口座の残額をデータベースを検索して確認し、残額データ並びに暗証番号データとを前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ22へ返信する。

【0134】

該返信に基づいて決済サーバコンピュータ22は、返信されてきた利用者の口座残額と暗証番号とを一時記憶するとともに、該口座残額と入金金額とを比較して入金金額の決済が可能であるか否かを判断し、決済の可否を前記システムコントローラ100に返信する。

【0135】

この決済の可否の返信を受けてシステムコントローラ100は、返信内容が「決済不可」 50

である場合には、発行処理の中止を送信元の発行入金機 430 に送信することで、プリペイドカードである IC カード 37 の発行が中断され、発行入金機 430 の前記表示部 404 に「残額エラーにてご利用できません」のメッセージが表示される。

【0136】

一方、前記決済サーバコンピュータ 22 からの返信内容が「決済可」である場合には、システムコントローラ 100 は、暗証番号の出力要求を送信元の発行入金機 430 に送信することで、該発行入金機 430 の前記表示部 404 に暗証番号の入力を促す「暗証番号を入力して下さい」のメッセージが表示される。

【0137】

該メッセージの表示を受けて、利用者が前記テンキー 423 を操作して暗証番号を入力して、決定ボタン 425 を入力すると、前記 MPU 448 が該入力された暗証番号データをシステムコントローラ 100 に送信することで、該送信された暗証番号データがシステムコントローラ 100 に中継されて前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ送信される。 10

【0138】

この暗証番号データの送信を受けて決済サーバコンピュータ 22 は、前述の一時記憶されている暗証番号と受信した暗証番号データとを照合し、その照合結果を返信する。該返信された照合結果が一致して正しい場合においてのみ、前記システムコントローラ 100 が送信元の発行入金機 430 に対し、追加入金処理の許諾を通知する。

【0139】

該許諾通知を受けた発行入金機 430 の MPU 448 は、入金対象となる受け付け中の IC カード 37 の ID と入金金額の度数（1000 円毎に 10 度）とを、現金の追加入金処理と同様にシステムコントローラ 100 に送信する。 20

【0140】

システムコントローラ 100 では、該送信されてきた情報に基づいて、該当する ID の度数に前記出力された度数データに基づく度数を加算更新した後、更新処理の完了を前記発行入金機 430 に返信する。

【0141】

この返信に基づき、前記 MPU 448 は更新処理が完了したことを認知して、前記変換された度数を前記記憶部 446 に記憶された度数に加算更新し、IC カードリーダーライタ 445 により、該更新された度数を挿入されている IC カード 37 に記録された度数に上書き更新して、IC カード挿入口 438 より排出・返却し、IC カードインジケータ 439 を点滅させるとともに、利用明細であるレシートを前記レシート排出口 408 より発行させて、該レシートの発行を報知するためにレシートインジケータ 409 を点滅点灯させる。 30

【0142】

また、この際、前記システムコントローラ 100 からは、利用可能限度額から新たに追加入金に使用された入金金額を、それまでの前記利用履歴に基づく合計金額に加えた新たな合計金額を差し引いた利用可能残額が算出されて送信元の発行入金機 430 に送信されることで、図 10 に示す表示例の「発行金額」が「追加入金額」とされて表示されるようになる。 40

【0143】

また、このキャッシュカードを用いた IC カード 37 の追加入金処理の完了後において、前記発行入金機 430 の MPU 448 は追加入金完了をシステムコントローラ 100 に送信することで、該追加入金完了が前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ 22 へ中継されて、該追加入金完了の受信に基づき前記追加入金金額である 10000 円が、遊技場の決済履歴として決済サーバコンピュータ 22 に登録されるとともに、発行金額の引落し決済の依頼が前記利用者の取引金融機関のホストコンピュータ 20 に出力されて、前記追加入金金額が利用者の口座残額より迅速に引き落とされて、即時決済が実施されるようになっている。 50

【0144】

また、前記のように遊技場の決済履歴に登録された入金金額は1日毎に集計されて、その合計金額から所定の決済手数料が減額された金額が所定の期間、例えば4営業日を経た後に、遊技場の取引銀行のホストコンピュータ21へ入金処理が送信されることで、遊技場の口座へ振り込まれるようになっている。

【0145】

尚、前記発行入金機430において、これらICカード37への追加入金の実施中に前記中止／返却ボタン436が入力されると、これら追加入金処理は中止され、投入された紙幣や挿入されたキャッシュカード並びにICカード37が返却されるようになっている。

【0146】

尚、本実施例では、利用者がキャッシュカードにてICカード37の発行や追加入金をした際に、利用明細であるレシートを発行するようにしており、このようにすることは、利用者がICカード37の発行や追加入金に供した金額を確認できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらレシートを発行しないようにしても良い。また、これらレシートにも、利用可能残額を印字しておくようにして、これら利用可能残額を利用者が確認できるようにしても良い。

【0147】

また、本実施例では、遊技場の口座への振り込みを所定の期間後において実施するようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら発行金額や入金金額を集計せずに、個々の発行金額または入金金額毎に遊技場の口座への振り込み処理を即時に実施するようによっても良い。

【0148】

以上説明したように、本実施例の遊技用システムを用いれば、遊技者は、前記利用限度額を越える遊技用記録媒体であるプリペイドカードの発行や、追加入金処理を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、遊技用記録媒体の発行或いは追加入金処理に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【0149】

前記各実施例における各要素は、本発明に対して以下のように対応している。本発明の請求項1は、遊技機（パチンコ機2）で遊技を行う際に使用される遊技用価値（度数）の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体（ICカード37）を発行するための遊技用記録媒体発行手段（MPU448、ICカードリーダーライタ445）と、利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー413）と、少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー413）にて読み出された記録情報と前記遊技用記録媒体（ICカード37）の発行に供される発行金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関（決済処理センター）に送信するとともに、該決済処理機関（決済処理センター）からの返信情報を受信する情報送受信手段（ターミナルユニット23）と、該返信情報が遊技用記録媒体（ICカード37）の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値（度数）を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体（ICカード37）を前記遊技用記録媒体発行手段（MPU448、ICカードリーダーライタ445）にて発行する遊技用システムにおいて、前記発行金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体（キャッシュカード）毎の発行履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段（システムコンピュータ100）と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の発行金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段（MPU448、ICカードリーダーライタ445）からの遊技用記録媒体（ICカード37）の発行を許容しない利用限度額判定手段（システムコンピュータ100）を備える。

【0150】

本発明の請求項 2 は、遊技機（パチンコ機 2）で遊技を行う際に使用される遊技用価値（度数）の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）を受付け、該受付けた遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段（ＩＣカードリーダーライタ 317, 445）と、利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー 316, 413）と、少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー 316, 413）にて読み出された記録情報と価値加算に供される加算要求金額情報とを遊技場外に設置されている決済処理機関（決済処理センター）に送信するとともに、該決済処理機関（決済処理センター）からの返信情報を受信する情報送受信手段（ターミナルユニット 23）と、該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値（度数）の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段（ＩＣカードリーダーライタ 317, 445）にて遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）から読み取った記録情報から特定される遊技用価値（度数）の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値（度数）を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段（ＭＰＵ 321, 448、ＩＣカードリーダーライタ 317, 445）と、を具備する遊技用システムにおいて、前記加算要求金額と発行日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体（キャッシュカード）毎の価値加算履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段（システムコンピュータ 100）と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の価値加算金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記価値加算処理手段（ＭＰＵ 321, 448、ＩＣカードリーダーライタ 317, 445）における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段（システムコンピュータ 100）を備える。

【0151】

本発明の請求項 3 は、遊技機（パチンコ機 2）で遊技を行う際に使用される遊技用価値（度数）の大きさを特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）を受付け、該受付けた遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の記録情報を少なくとも読み取る遊技用記録媒体読み取り手段（ＩＣカードリーダーライタ 317, 445）と、利用者の預金口座を特定可能な情報が記録され、金融機関により発行された口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の記録情報を読み取る口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー 413）と、少なくとも該口座特定用記録媒体読み取り手段（キャッシュカードリーダー 413）にて読み出された記録情報と、前記遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の発行に供される発行金額情報或いは価値加算に供される加算要求金額情報を、遊技場外に設置されている決済処理機関（決済処理センター）に送信するとともに、該決済処理機関（決済処理センター）からの返信情報を受信する情報送受信手段（ターミナルユニット 23）と、該返信情報が価値加算に供される加算要求金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、前記加算要求金額に対応する遊技用価値（度数）の大きさを前記遊技用記録媒体読み取り手段（ＩＣカードリーダーライタ 445）にて遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）から読み取った記録情報から特定される遊技用価値（度数）の大きさに加算して、前記遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の記録情報より該加算後の新たな大きさの遊技用価値（度数）を特定可能とするための価値加算処理を行う価値加算処理手段（ＭＰＵ 448、ＩＣカードリーダーライタ 445）と、前記返信情報が遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）の発行に供される発行金額の決済が可能であることを示す情報である場合において、該発行金額に対応する大きさの前記遊技用価値（度数）を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体（ＩＣカード 37）を発行するための遊技用記録媒体発行手段（ＭＰＵ 448、ＩＣカードリーダーライタ 445）と、を具備する遊技用システムにおいて、前記発行金額並びに加算要求金額と利用日時の情報を少なくとも含む前記口座特定用記録媒体（キャッシュカード）毎の利用履歴を記憶、管理するための利用履歴管理手段（システ

ムコンピュータ１００）と、所定期間における前記各口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の発行金額並びに加算要求金額の合計金額を算出するとともに、該合計金額が予め定められた所定期間における利用限度額に達しているか否かを判定し、利用限度額に達している場合において前記遊技用記録媒体発行手段（ＭＰＵ４４８、ＩＣカードリーダーライタ４４５）からの遊技用記録媒体（ＩＣカード３７）の発行或いは前記価値加算処理手段（ＭＰＵ３２１，４４８、ＩＣカードリーダーライタ３１７，４４５）における価値加算処理を許容しない利用限度額判定手段（システムコンピュータ１００）を備える。

【０１５２】

本発明の請求項４は、前記所定期間における利用限度額を設定するための利用限度額設定手段（システムコンピュータ１００；利用限度額設定画面）を備える。

10

【０１５３】

本発明の請求項５は、前記所定期間が１日とされている。

【０１５４】

本発明の請求項６は、前記所定期間における利用限度額に前記合計金額が達して利用不可とされた口座特定用記録媒体（キャッシュカード）の利用不可期間を設定するための利用不可期間設定手段（システムコンピュータ１００；利用限度額設定画面）を備える。

【０１５５】

本発明の請求項７は、前記利用限度額から前記合計金額を差し引いた利用可能残額を表示するための表示手段（表示部３３１，４０４）を備える。

【０１５６】

20

以上、本発明の実施形態を図面により前記実施例にて説明してきたが、本発明はこれら実施例に限定されるものではなく、本発明の主旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれることは言うまでもない。

【０１５７】

例えば、前記実施例では、金融機関が発行する口座特定用記録媒体としてキャッシュカードを用いた例を説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら口座特定用記録媒体を利用者の口座を特定可能で、該口座と決済を実施できるものであれば良く、例えばクレジットカード等であっても良い。

【０１５８】

また、前記実施例では、遊技場と金融機関との決済を決済処理センターを介して実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、遊技場と金融機関とが直接決済を行うようにしても良い。

30

【０１５９】

また、前記実施例では、キャッシュカードを用いてＩＣカード３７の発行または追加入金を実施する際に、キャッシュカードから読み取られた利用者の取引金融機関を識別する銀行番号、支店番号、口座番号の各情報と、これらＩＣカード３７の発行または追加入金に供される金額情報とが決済処理センターの決済サーバコンピュータ２２に出力されるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、前記ＩＣカード３７の発行または追加入金に供される金額を定額（例えば一律３０００円）としている遊技場においては、前記金額情報を送信せずに、該遊技場を特定可能な識別情報を利用者の金融機関を識別する各情報とともに出力し、前記決済処理センターの決済サーバコンピュータ２２はこれら出力された遊技場の識別情報に基づいて遊技場を特定し、該遊技場に対応して予め登録されている金額をＩＣカード３７の発行または追加入金に供される金額と見なして決済処理を行うようにしても良い。

40

【０１６０】

また、前記実施例のカードユニット３においては、紙幣識別ユニット３１５並びにキャッシュカードリーダ３１６の双方が設けられ、発行入金機４３０では、紙幣識別ユニット４４４並びにキャッシュカードリーダ４１３の双方が設けられ、利用者は貨幣である紙幣と利用者が所持するキャッシュカードとの双方を用いてＩＣカード３７の新規発行や追加入金を実施できるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、少なくと

50

も前記キャッシュカードを用いて前記ＩＣカード３７の新規発行および／または追加入金を実施できるようになっていれば良い。

【０１６１】

また、前記実施例の発行入金機４３０では、キャッシュカードを利用したＩＣカード３７の新規発行や追加入金を実施できるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらＩＣカード３７の新規発行や追加入金のいずれか一方を実施できるようにしても良い。

【０１６２】

また、前記実施例のカードユニット３においては、前記キャッシュカード及び紙幣を用いて挿入されているＩＣカード３７から読み出された度数への追加入金のみが可能とされているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらカードユニット３においても、前記発行入金機４３０と同様に、キャッシュカードを用いてＩＣカード３７の新規発行が実施できるようになっていても良く、これにより、投入される現金の量を低減または皆無とすることができ、これら現金の回収や保管に要する管理コストや労力を低減することができるばかりか、金融機関に出向いて現金を引き出す必要がないため、利用者の利便性を向上できる。 10

【０１６３】

更には、前記実施例のカードユニット３において追加入金ではなく、キャッシュカードを用いてＩＣカード３７の新規発行のみが可能とされた構成としても良い。

【０１６４】

また、前記実施例のカードユニット３では、前記キャッシュカードの記録情報の読み取りを、前面に突出して設けられたキャッシュカードリーダー３１６のリーダー部３０６にスライドさせることで実施しているとともに、前記実施例の発行入金機４３０では、前記キャッシュカードの読み取りを、内部に設けられたキャッシュカードリーダー４１３に挿入することで実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、キャッシュカードが非接触式のＩＣカード等により形成されている場合に、該キャッシュカードをリーダーに近接させることで読み取らせるようにしても良く、これら読み取り形態は任意に変更可能である。 20

【０１６５】

また、前記実施例のカードユニット３や発行入金機４３０では、現金としての紙幣のみが受付可能とされているが、本発明はこれに限定されるものではなく、現金として硬貨も受付可能とされ、該硬貨の受付に基づき、ＩＣカード３７の発行や追加入金の実施されるようになっていても良い。 30

【０１６６】

また、前記実施例では、１台のパチンコ機２に対して１台のカードユニット３が設けられているが、本発明はこれに限定されるものではなく、２台のパチンコ機２に対して１台としたものとしても良い。

【０１６７】

また、前記実施例においては、前記ＩＤを発行時にＩＣカード３７に記録するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらＩＤを予めＩＣカード３７に書き換え不可に記録するようにしても良い。 40

【０１６８】

更に、前記実施例におけるＩＣカード３７にはＩＤ及び残存する度数とが記録されているとともに、同様の度数データが各ＩＤ毎に前記管理コンピュータに登録されるようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、例えば、前記ＩＣカード３７にはＩＤのみを記録しておき、該ＩＣカード３７のカードユニット３への挿入に基づき、該挿入されたＩＣカード３７のＩＤに対応付けて前記管理コンピュータに記憶された度数を特定できるようにしても良いし、逆に、前記管理コンピュータを設けず、ＩＣカード３７のみに残存する度数を記録するようにしても良い。

【０１６９】

また、前記実施例においては、遊技用記録媒体として非接触形のＩＣカード３７を用いているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらを接触型のＩＣカードとしたり、その他、表面に貼着された磁気テープにより情報が読み取り可能とされた磁気カードやバーコード等の所定の情報記録シンボル等がプリント可能とされた媒体等であっても良く、これら遊技用記録媒体としては、前記遊技に使用可能な遊技用価値の大きさを特定可能な情報を読み取り可能に記録できるものであれば特に限定されるものではない。

【０１７０】

また、前記実施例においては、遊技媒体としてパチンコ玉を用いているが、これら遊技媒体をコインや点数、更には後述する画像式のパチンコ機やスロットマシン等における画像にて形成されたパチンコ玉やコイン等としても良く、これら遊技媒体は遊技において使用される媒体であれば、本発明の遊技媒体に含まれるものであり、その形態が限定されるものではない。

10

【０１７１】

また、前記実施例においては、遊技媒体であるパチンコ玉が外部に払い出される通常のパチンコ機２を用いているが、本発明はこれら通常のパチンコ機のみならず、該パチンコ玉が指触不能に封入された封入式パチンコ機や、コインを用いて遊技を行うスロットマシンや、コインが外部に排出されることなく遊技可能なクレジット式のスロットマシン、さらにはこれら遊技媒体を用いずにデータ等により遊技可能な遊技機や、遊技盤やパチンコ玉が画像にて表示される画像式のパチンコ機や、リールが画像にて表示される画像式のスロットマシンにも適用可能であることはいうまでもなく、これら遊技機が限定されるものではない。

20

【０１７２】

【発明の効果】

本発明は次の効果を奏する。

（ａ）請求項１の発明によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える遊技用記録媒体の発行を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、遊技用記録媒体の発行に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【０１７３】

（ｂ）請求項２の発明によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える価値加算処理を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、価値加算に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

30

【０１７４】

（ｃ）請求項３の発明によれば、遊技者は、前記所定期間における利用限度額を越える遊技用記録媒体の発行或いは価値加算処理を受けることができないようになるため、遊技に過度に没頭してしまった遊技者が、遊技用記録媒体の発行或いは価値加算に対して過度の金額を使用してしまうことを抑止できる。

【０１７５】

（ｄ）請求項４の発明によれば、前記所定期間における利用限度額を適宜に変更することができる。

40

【０１７６】

（ｅ）請求項５の発明によれば、所定期間を１日とすることで、１日単位にて節度を持った利用を行わせることができる。

【０１７７】

（ｆ）請求項６の発明によれば、利用不可期間を過ぎれば、再度口座特定用記録媒体の利用が可能となるので、遊技者の利便性を損なうことがない。

【０１７８】

（ｇ）請求項７の発明によれば、遊技者は、自分の利用可能残額を逐次確認することができる。

【図面の簡単な説明】

50

- 【図 1】本発明の実施例に用いた遊技島を示す外観斜視図である。
- 【図 2】本発明における実施例のパチンコ機並びにカードユニットの正面図である。
- 【図 3】本発明の実施例におけるパチンコ機の操作部の上面図である。
- 【図 4】本発明の実施例におけるカードユニットの一部破断斜視図である。
- 【図 5】本発明の実施例におけるカードユニットに設けられた入力操作部の構成を示す正面図である。
- 【図 6】本発明の実施例におけるパチンコ機とカードユニットとの接続状況並びに該カードユニットとパチンコ機の構成を示すブロック図である。
- 【図 7】本発明の実施例におけるカードユニットに設けられた I C カードリーダーライタの構成を示す断面図である。
- 【図 8】本発明の実施例に用いた遊技用記録媒体としての I C カードを示す一部破断上面図である。
- 【図 9】本発明の実施例における発行入金機を示す外観斜視図である。
- 【図 10】本発明の実施例における発行入金機に設けられた操作部の構成を示す正面図である。
- 【図 11】本発明の実施例における発行入金機の構成を示すブロック図である。
- 【図 12】本発明の実施例に用いたシステムコントローラの構成を示すブロック図である。
- 【図 13】本発明の実施例に用いたシステムコントローラに記憶されている決済履歴データベースの構成を示す図である。
- 【図 14】(a)は、本発明の実施例に用いたシステムコントローラの利用限度額設定画面を示す図であり、(b)は、利用不可カード情報表示画面を示す図である。
- 【図 15】本発明の実施例における遊技場と決済処理センター並びに利用者及び遊技場の取引金融機関との接続状況を示すブロック図である。
- 【図 16】本発明の実施例における遊技場と決算処理センターと利用者及び遊技場の取引金融機関とのデータの送受信状況並びに処理状況を示す図である。

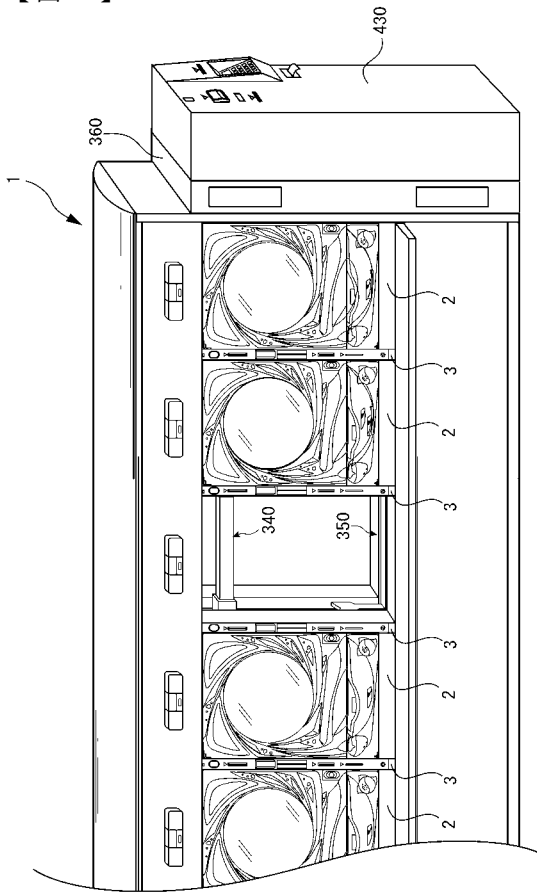
【符号の説明】

1	遊技島	
2	パチンコ機（遊技機）	
3	カードユニット	30
1 4	操作部	
1 5	返却ボタン	
1 6	貸出ボタン	
1 7	度数表示部	
1 8	操作基板	
2 0	ホストコンピュータ	
2 1	ホストコンピュータ	
2 2	決済サーバコンピュータ	
2 3	ターミナルユニット	
3 7	I C カード（遊技用記録媒体）	40
4 8	通信ケーブル	
1 0 0	システムコントローラ	
1 0 1	データベース	
1 0 2	C P U	
1 0 3	R A M	
1 0 4	R T C	
1 0 5	記憶装置	
1 0 6	入力装置	
1 0 7	表示装置	
1 0 8	プリンタ	50

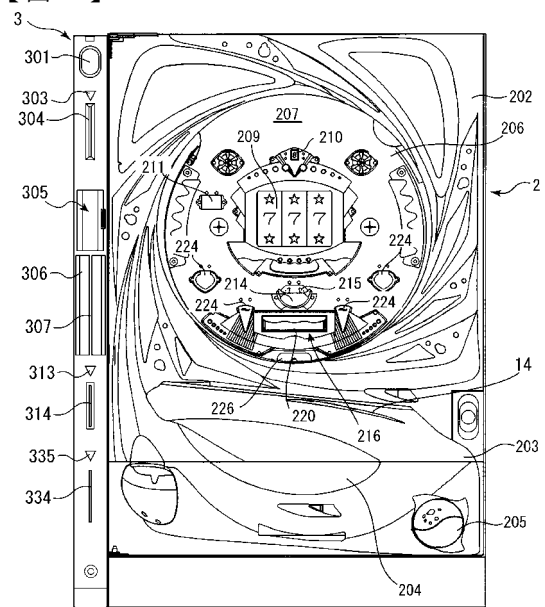
1 0 9	第 1 通 信 部	
1 1 0	第 2 通 信 部	
2 0 2	ガラス扉枠	
2 0 3	打球供給皿	
2 0 4	余剰玉受皿	
2 0 5	打球操作ハンドル（操作ノブ）	
2 0 6	遊技盤	
2 0 7	遊技領域	
2 0 9	可変表示部	
2 1 0	可変表示装置	10
2 1 1	通過ゲート	
2 1 4	始動入賞口	
2 1 5	可動片	
2 1 6	可変入賞球装置	
2 2 0	開閉板	
2 2 4	入賞口	
2 2 6	アウト口	
2 3 1	遊技制御基板	
2 3 5	ランプ制御基板	
2 3 7	賞球制御基板	20
2 7 0	音声制御基板	
2 8 0	表示制御基板	
2 9 1	発射制御基板	
2 9 7	玉払出装置	
3 0 1	動作ランプ	
3 0 3	紙幣インジケータ	
3 0 4	紙幣挿入口	
3 0 5	入力操作部	
3 0 6	リーダ部	
3 0 7	スリット	30
3 1 3	I C カードインジケータ	
3 1 4	I C カード挿入口	
3 1 5	紙幣識別ユニット	
3 1 6	キャッシュカードリーダ	
3 1 7	I C カードリーダライタ	
3 1 8	記憶部	
3 1 9	I / O ポート	
3 2 1	マイクロプロセッシングユニット（M P U）	
3 2 5	通信部	
3 2 7	カバー部材	40
3 2 8	取手	
3 2 9	暗証番号入力部	
3 3 0	凹部	
3 3 1	表示部	
3 3 2	金額選択入力部	
3 3 3	表示ドライバ	
3 3 4	レシート排出口	
3 3 5	レシートインジケータ	
3 3 6	プリンタ	
3 3 7	通信部	50

3 4 0	紙幣搬送路	
3 5 0	カード搬送路	
3 6 0	収容部	
3 8 1	基体	
3 8 2	専用マイコン	
3 8 3	パターンコイル	
3 8 4	基板	
3 8 5	トップフィルム	
3 8 6	駆動モータ	
3 8 7	搬送ローラ	10
3 8 8	搬送ローラ	
3 8 9	電磁ソレノイド	
3 9 0	通信ヘッド	
3 9 1	搬送ベルト	
3 9 2	制御基板	
3 9 3	駆動モータ	
3 9 4	フリーローラ	
3 9 5	排出口	
3 9 7	挿入センサ	
3 9 8	ガイドレール	20
4 0 1	動作ランプ	
4 0 2	キャッシュカード挿入口	
4 0 3	キャッシュカードインジケータ	
4 0 4	表示部	
4 0 5	入力部	
4 0 8	レシート排出口	
4 0 9	レシートインジケータ	
4 1 3	キャッシュカードリーダー	
4 1 4	プリンタ	
4 1 7	表示ドライバ	30
4 1 9	通信部	
4 2 1	電話回線	
4 2 2	金額入力キー	
4 2 3	テンキー	
4 2 4	キャンセルキー	
4 2 5	決定キー	
4 2 6	凹部	
4 2 7	操作部	
4 2 9	通信部	
4 3 0	発行入金機	40
4 3 3	紙幣挿入口	
4 3 6	中止／返却ボタン	
4 3 8	I C カード挿入口	
4 3 9	I C カードインジケータ	
4 4 2	紙幣インジケータ	
4 4 4	紙幣識別ユニット	
4 4 5	I C カードリーダーライタ	
4 4 6	記憶部	
4 4 8	マイクロプロセッシングユニット (M P U)	

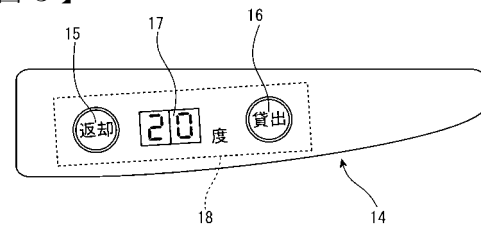
【図 1】



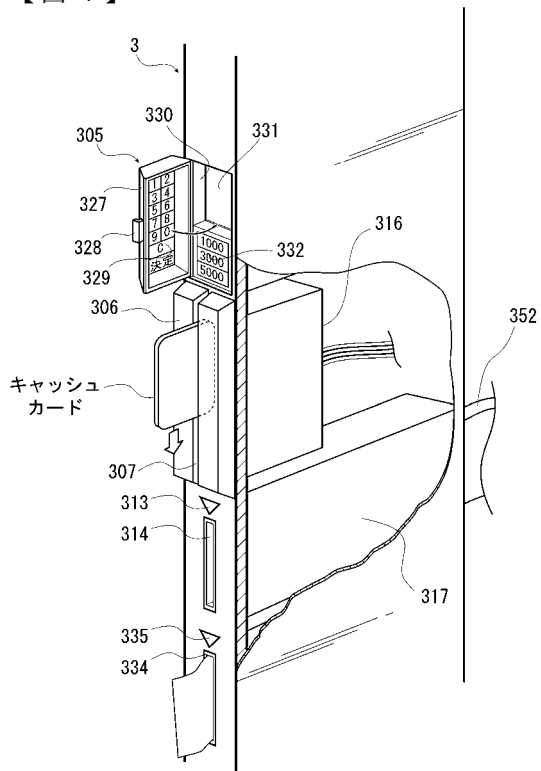
【図 2】



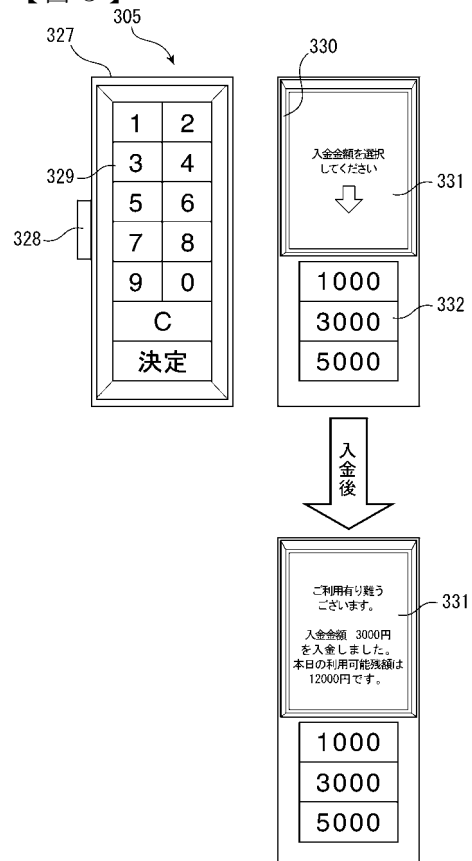
【図 3】



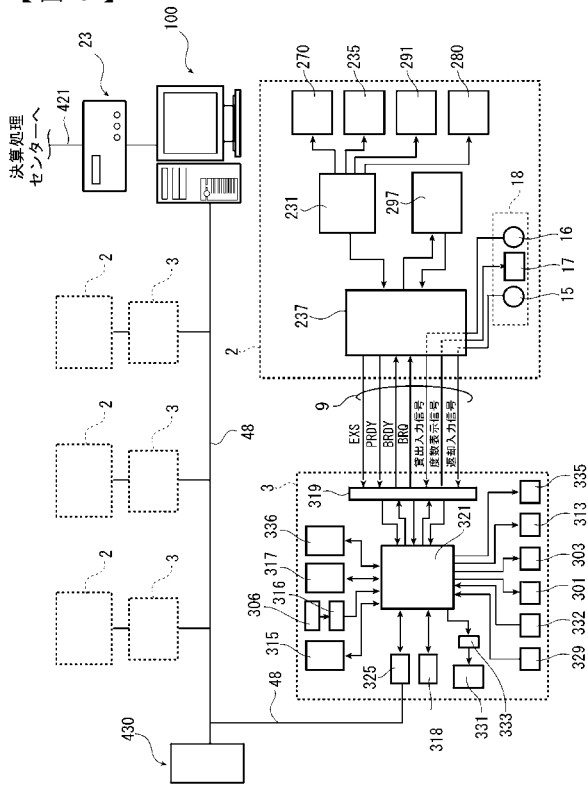
【図 4】



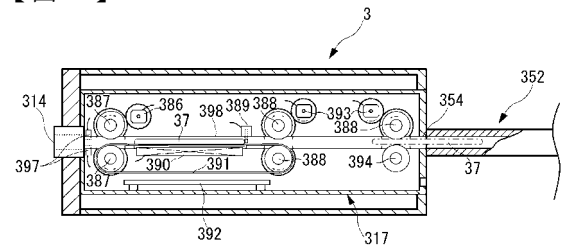
【図 5】



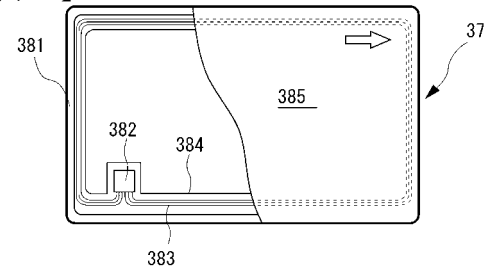
【図 6】



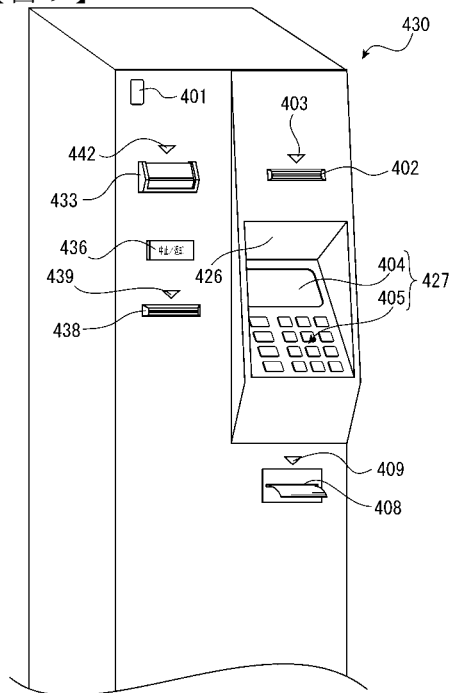
【図 7】



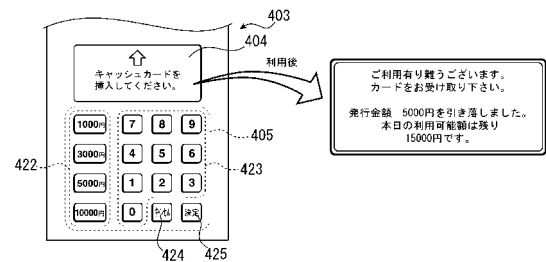
【図 8】



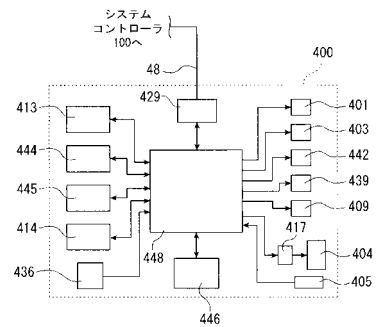
【図 9】



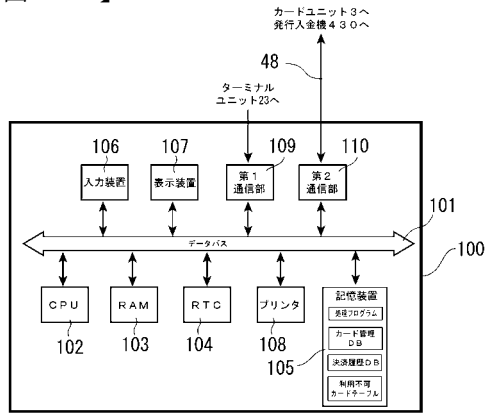
【図 10】



【図 11】



【図 1 2】



【図 1 3】

決済履歴 DB

No.	利用日時	処理装置	処理種別	口座番号	決済金額
123	02/04/04 14:03	CY-120	入金	001-222-3-4444444	3,000
122	02/04/04 14:00	CY-101	入金	005-666-1-7777777	2,000
121	02/04/04 13:58	HS-01	発行	008-999-1-0101010	5,000
120	02/04/04 13:57	CY-106	入金	220-330-2-2368978	3,000
...	...	...	...	...	...

【図 1 4】

(a)

利用限度額設定画面

1. 利用限度額 円 / 1日

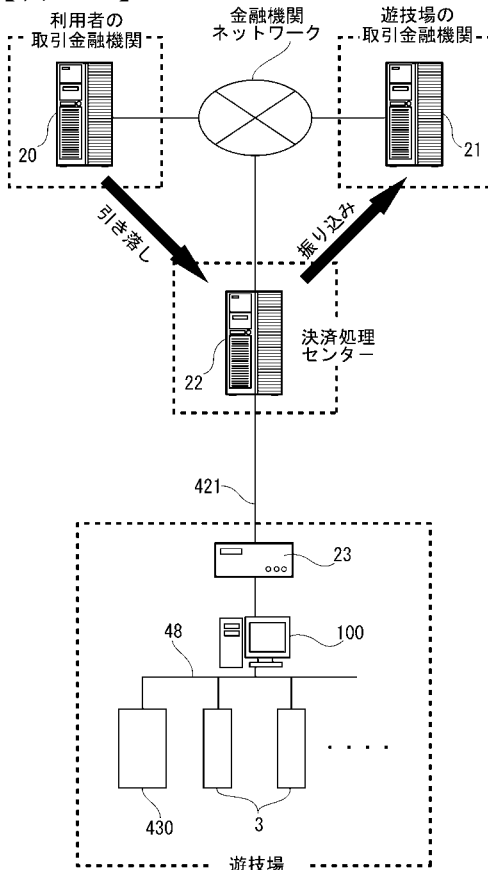
2. 利用不可期間

(b)

利用不可カード情報表示画面

No.	口座番号	限度超過日	登録解除日
1	xxx-yyy-3-zzzzzzz	02/04/04	02/04/06
2	nnn-mmm-3-ppppppp	02/04/04	02/04/06
...	...	...	...

【図 1 5】



【図 1 6】

